

**医療法人腎愛会**

**平成 26 年度年報**

**平成 27 年 10 月**

**上山病院**

**うえやま腎クリニック**



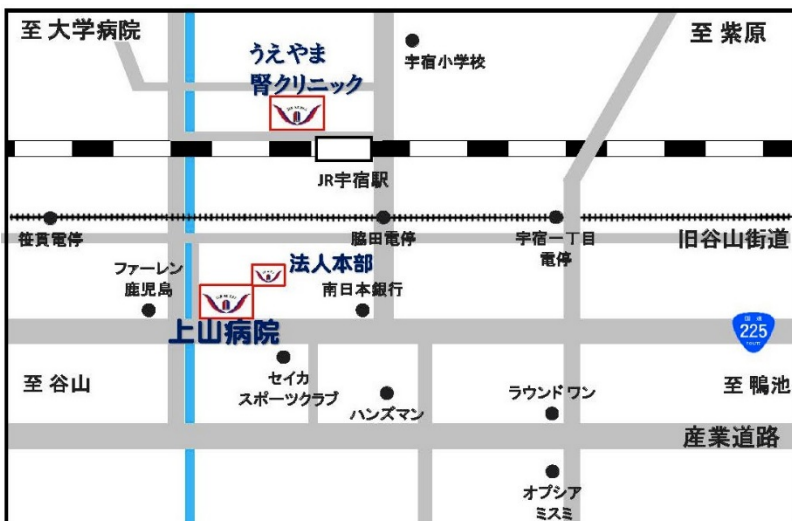
上山病院



うえやま腎クリニック



法人本部



医療法人腎愛会

上山病院

〒890-0073  
 鹿児島市宇宿 3 丁目 17-6  
 T E L 099-257-2277  
 F A X 099-252-0722

うえやま腎クリニック

〒890-0073  
 鹿児島市宇宿 4 丁目 39-20  
 T E L 099-275-3211  
 F A X 099-275-3212

法人本部

〒890-0073  
 鹿児島市宇宿 3 丁目 21-5  
 T E L 099-259-8811  
 F A X 099-259-8469

## 医療法人腎愛会 平成26年度版年報の発行にあたって

日頃より医療法人腎愛会の運営にご理解ご協力を賜り、誠にありがとうございます。  
さて、腎愛会では患者の皆様常に最良の医療を提供すべく、これまで様々な努力を重ねてまいりました。

26年4月に発足した「鹿児島市 CKD(慢性腎臓病)予防ネットワーク」には、発足当初から参加し、人工透析の新規患者や心疾患の減少及び医療費の抑制を図ることを目的に、検診の結果、腎機能の低下を予防して頂きたい方や既に腎機能が低下し始めている方、糖尿病や高血圧などにより発症する慢性腎臓病(CKD)の重症化を予防するための適切な医療の提供にも力を入れております。

26年11月には検査・処方などにかかる情報伝達システムである「オーダーリングシステム」を導入いたしました。これまでは、検査や処方、診療報酬算定の業務において情報伝達に時間がかかっておりましたが、コンピューターに入力することで、ネットワークを通じてスピーディーかつ正確に関連部署へ情報を伝達することが可能となりました。このことにより、診療・検査から会計において迅速な情報処理が可能となり、患者の皆様の在院時間が短縮され、サービス向上へと繋がっております。導入当初と比べてシステムも年々改良されております。今後も患者の皆様の利便性がより高まるよう、職員一同努めてまいります。

平成27年度は、おかげさまでこの宇宿の地に前身の「上山内科クリニック」が開設されてから35年目を迎えます。ここまで来られましたのも、ひとえに患者の皆様、ご家族の皆様、地域の皆様、そして関係者の方々のお力添えのたまものと感謝いたしております。

これからは、透析医療の専門機関としてのみならず、在宅医療への取組みも始めることとし、超高齢化社会を迎える鹿児島において、「地域のかかりつけ医」として、近隣住民の皆様のくらしの安心を支えられるよう、腎愛会職員一丸となって邁進してまいります。

今後とも一層のご支援・ご厚誼を賜りますよう、心よりお願い申し上げます。

平成27年10月

医療法人腎愛会 理事長 上山 達典

ごあいさつ

院長に就任して3年がたちました。

今年も無事に1年間務めることができましたのは、皆様の御指導と御協力のお陰と大変感謝致しております。

日本は、諸外国に例をみないスピードで高齢化が進行しています。厚生労働省のホームページによりますと、65歳以上の人口は現在3,000万人を超えており(国民の約4人に1人)、2042年の約3,900万人でピークを迎え、その後も75歳以上の人口割合は増加し続けることが予想されています。このような状況の中、団塊の世代(約800万人)が75歳以上となる2025年以降は、国民の医療や介護の需要がさらに増加することが見込まれています。このため厚生労働省においては2025年を目途に、高齢者の尊厳の保持と自立生活の支援の目的のもとで、可能な限り住み慣れた地域で、自分らしい暮らしを人生の最後まで続けることができるよう、地域の包括的な支援・サービス提供体制(地域包括ケアシステム)の構築を推進しています。また、認知症高齢者や単身高齢世帯などの増加に伴い、医療や介護サービス以外にも、在宅生活を継続するための日常生活支援(配食・見守りなど)を必要とする方の増加が見込まれており、今後はこれまでに以上に関係機関が連携し、他職種協働により在宅医療・介護を一体的に提供できる体制を構築していく必要があります。

腎愛会としまして、法人の理念である『豊かな人間愛をもって、常に最良の医療を求めて最善を尽くします』をもとに、今後疾病を抱えても住み慣れた生活の場で療養し、自分らしい生活を続けられるようにサポートできる環境づくりに取り組んでいく予定です。そして、このように年々変化していく医療環境の中で、スタッフ一同が同じ目的をもって頑張っていけるように、2014年9月から各部署の代表で行う幹部研修会を開始しました。幹部研修会では、当院の目標『日本で最高の病院にしていこう!』に向かっていくために、どのようなことをしていけばよいのか、今何が出来るのかなどひとつひとつ話し合いをしています。その中で、スタッフ一人ひとりがそれぞれにスキルアップ出来るよう、腎愛会のスタッフとして誇りを持ってもらえるようにするのが目的である職員の成長シートを作成いたしました。今後運用しながら、より良いものになるようにしていく予定です。引き続き、これまで以上にスタッフとのコミュニケーションを大切にし、それぞれの意見を反映していけるような、システム作りをしていきたいと思っております。

当院の目標にはまだまだ到達していませんが、一步一步向かっていると信じて進んでまいります。

今後ともどうぞ御指導、御鞭撻のほど宜しくお願い申し上げます。

平成27年10月

上山病院 院長 寺口 記代

《当院の目標》

『日本で最高の病院にしていこう！』

- ①来られる患者さん、そのご家族が「素晴らしい治療をしてもらえて、本当によかった」と心から言っていただけの病院
- ②スタッフが「私は素晴らしい病院で働いている」と実感できる病院
- ③他の病院や医師から「あの病院は最高の医療を提供している」と認めてもらえる病院

## 《 目次 》

ごあいさつ

1	理念・基本方針	1
2	患者様の権利について	2
3	概要	3
4	沿革	5
5	各部門の紹介・実績報告	6
6	研究実績	25
7	院内研修開催実績	27
8	1年間の主な出来事	31
9	医療機器	32
10	病院組織図	33
11	委員会活動	34
12	統計	36
	(1)患者データ【上山病院】	
	(2)患者データ【うえやま腎クリニック】	
	(3)送迎データ	
	(4)職員データ	

# 1 理念・基本方針

## ■理念

私たちは、豊かな人間愛を持って、常に最良の医療を求めて最善を尽くします。

## ■基本方針

- 1) 質の高い医療を追及するために、たゆみなく研鑽します。
- 2) 医療人としての誇りを自覚し、公共のために行動します。
- 3) 温かい医療を提供するとともに、地域のために貢献します。

(平成 24 年 1 月 1 日改定)

## ■行動規範

四維（礼・義・廉・恥）

礼 礼を重んじ、感謝の気持ちを持ちます。

義 正しい道を求め、公共のために行動します。

廉 心を清らかに保ち、素直に接します。

恥 恥じることを知り、同じ過ちを繰り返さないよう創意します。

## 2 患者様の権利について

### ■患者の皆様のご権利と責務

I 患者の皆様には次のような権利があります。

- 1 等しく安全で良質な医療を受ける権利があります。
- 2 治療方針・治療効果・危険性などについて知ることができます。
- 3 治療方針について、別の医師の意見を希望することができます。
- 4 診療内容などの個人情報保護されます。
- 5 医療費の詳細について、説明を受けることができます。

II 患者の皆様には次のような責務があります。

- 1 最善の医療を受けるために、病状経過・過去の治療歴などについて情報提供をしていただく責任があります。
- 2 病を克服するために、医療関係者と協働して治療に取り組む必要があります。
- 3 円満な医療を受けるために、病院や社会生活上のルールやマナーを守る必要があります。
- 4 診療上必要な医療費を負担する必要があります。

### ■説明と同意

医学・医療は科学技術の発展に伴って急速に進歩し、診断・治療の中身が専門的になり、理解が難しくなっています。また、高齢者が多くなり、慢性疾患が増加し、疾病構造も大きく変わっています。

そこで、患者さんやご家族におかれましては、十分な説明を受け、よく理解してから、自分の人生観に従って、主体的に生きていこうとお考えになろうかと拝察いたします。

私ども医療従事者は、このような患者さんのよりよい支援者として努めてまいりますので、ご不審な点がございましたらご遠慮なくお尋ねください。

そして、十分に理解し同意して、診療にご協力をお願いいたします。

### 3 概 要

#### 【上山病院】

- 1) 名 称：医療法人 腎愛会 上山病院
- 2) 所在地：鹿児島県鹿児島市宇宿三丁目 17-6
- 3) 開設者：上山達典
- 4) 開設年月日：平成 21 年 7 月 1 日
- 5) 管理者：寺口記代
- 6) 診療科目：内科、腎臓内科、人工透析内科、循環器内科
- 7) 延床面積：3450.48 m<sup>2</sup>
- 8) 病床数：40 床（療養病床 40 床）
- 9) 施設基準等

#### ①基本診療

療養病棟入院基本料 1、療養病棟療養環境加算 1、  
入院時食事療養（Ⅰ）／生活療養（Ⅰ）

#### ②特掲診療

薬剤管理指導料、ニコチン依存症管理料、医療機器安全管理料 1、  
透析液水質確保加算 2、感染防止対策加算 2、患者サポート体制充実加算、  
CT 撮影及び MRI 撮影、糖尿病合併症管理料

#### ③医療機関の指定

保険医療機関指定

特定疾患治療研究事業委託医療機関

障害者自立支援法指定医療機関（更正医療）

生活保護法指定医療機関

労災保険指定医療機関

労災二次健診指定医療機関

結核指定医療機関

原爆被爆者一般疾病医療機関

原爆被爆者二世健康診断委託事業医療機関

特定健診医療機関

65 歳以上インフルエンザ予防接種

肝炎治療特別促進事業指定医療機関

日本透析医学会教育関連施設認定

鹿児島県女性にやさしい医療機関

65 歳以上肺炎球菌ワクチン予防接種

## 【うえやま腎クリニック】

- 1) 名 称：医療法人 腎愛会 うえやま腎クリニック
- 2) 所在地：鹿児島県鹿児島市宇宿四丁目 39-20
- 3) 開設者：上山達典
- 4) 開設年月日：平成 18 年 5 月 20 日
- 5) 管理者：満枝和郎
- 6) 診療科目：内科、腎臓内科、人工透析内科
- 7) 延床面積：1609.54 m<sup>2</sup>
- 8) 施設基準等

### ①特掲診療

医療機器安全管理料 1、透析液水質確保加算 2

### ②医療機関の指定

保険医療機関指定

特定疾患治療研究事業委託医療機関

障害者自立支援法指定医療機関（更正医療）

生活保護法指定医療機関

労災保険指定医療機関

原爆被爆者一般疾病医療機関

特定健診医療機関

65 歳以上インフルエンザ予防接種

65 歳以上肺炎球菌ワクチン予防接種

## 4 沿革

昭和56年 1月17日	上山内科クリニックを開設(職員数13名、許可病床数19床)
昭和60年 5月16日	有限会社USK企画設立(資本金300万円)
昭和60年 6月14日	看護婦寮(上山ハイツ)竣工
昭和62年 3月31日	上山内科クリニックを閉院
昭和62年 4月 1日	上山病院を開設(職員数45名、許可病床数48床)
昭和62年10月 1日	医療法人腎愛会設立(資本金8,600万円)
平成 2年 8月	Push/Pull-HDF(日機装社製)導入
平成 4年 4月 1日	じんあいクリニック開設(外来透析専門施設、無床)
平成 4年11月	Push/Pull-HDF(上山式)を開発し導入
平成 6年10月 3日	USK企画を有限会社から株式会社に改組(資本金1,000万円)
平成 7年12月25日	上山病院の増改築を実施し、2床減床(職員数73名、許可病床46床)
平成 9年 4月 1日	上山病院に泌尿器科を増科
平成11年12月30日	療養病床施設基準に対応するために上山病院を改築
平成15年 7月31日	USK企画本社ビル(現法人本部ビル)竣工
平成15年 9月 1日	上山病院の病床を「その他一般病床」から「療養病床」へ転換
平成16年10月19日	USK企画本社ビル(現法人本部ビル)、第8回鹿児島市建築文化賞受賞
平成18年 5月30日	うえやま腎クリニック開設
平成18年 7月 1日	USK企画宇宿事業所(現USK企画本社)竣工
平成20年 3月31日	じんあいクリニック閉院
平成21年 3月 1日	上山病院・うえやま腎クリニックに腎臓内科・人工透析内科を増科
平成21年 7月 1日	新上山病院へ移転(職員数124名、許可病床数40床)
平成21年10月 1日	上山病院に循環器内科を増科
平成23年 1月16日	開院30周年記念式典
平成24年 1月 6日	公益財団法人 日本医療評価機能機構 病院機能評価 Ver.6 認定
平成24年 2月 7日	次世代育成支援対策推進法基準適合一般事業主認定(厚生労働大臣)
平成25年 3月15日	日本透析医学会教育関連施設認定
平成25年 5月 8日	鹿児島県女性にやさしい医療機関指定
平成26年10月 1日	オーダーリングシステム導入

## 5 各部門の紹介・実績報告

### (1) 診療部

#### 部門紹介

病院診療部は、常勤医師 5 名と非常勤医師 2 名の体制で診療にあたっております(27 年 3 月現在)。うち 1 名は心臓血管外科が専門です。外来透析、外来診療(一般外来・生活習慣病外来・禁煙外来など)、入院診療(含む入院透析)を行っております。また、腎移植医療に関して、鹿児島大学病院と連携し、サポート体制の確立を少しずつではありますが進めております。

一般外来(患者延べ数 月平均 568 名)は慢性腎疾患、高血圧、糖尿病、脂質異常症などを中心に、総合内科的機能を持ち、地域の皆様に広く受診して頂ける病院を目指しております。

#### 平成 26 年度および平成 27 年度の取り組み

当院では内科的管理と、血管外科の医師による外科的管理が可能であり、透析医療では、内科的見地から患者様の全身管理を行い、血管外科の医師が各種バスキュラーアクセスの設置術や腹膜透析カテーテル留置術などを担当しております。バスキュラーアクセス外来などの実施を具体化しつつ、平成 27 年度は、腹膜透析患者の導入から継続的管理に積極的に取り組んで参りたいと考えております。

平成 21 年より取り組んでいる禁煙外来につきましては、これまでに 39 名の方が成功されました。禁煙外来における保険適応基準の改定もあるようですので、これまで以上に成功者を増やしていけるよう取り組んで参りたいと思います。

今後も、患者様のより良い療養生活を維持するために、各種超音波診断装置や CAVI(動脈硬化指標の検査)など、非侵襲的な検査を積極的に行い、脳血管障害、心疾患、生活習慣病など、患者様の予後を悪化させる因子の早期発見に努めて参ります。

#### 信頼され選ばれる病院を目指して ～患者様満足度向上の取り組み～

病院を受診される患者様は何らかの苦痛、不安を抱えておられる方がほとんどです。私たちは、患者様のご自分の症状や不安を医師やスタッフに相談しやすい環境づくりに努めております。患者様の目線で、患者様と一緒に病気と向かい合う姿勢を心がけております。また、総合内科窓口として、適切な専門病院へ橋渡しすることも重要な仕事です。近隣医療機関との連携を密にしながら、患者さん本位の医療に取り組んでいきたいと考えております。

#### 研究・自己啓発活動について

積極的に学会発表、論文作成を行うとともに、それぞれの専門分野の学会、研究会にも可能な限り参加し、常に最新の知識を得るように心がけております。また、各種研究会の座長や、医薬品会社の社内講演会など地域の講演会や、介護系施設への腹膜透析に関する勉強会の講師も務め、腎臓医療・透析医療に関する普及啓発にも力を入れております。(詳細は、「6 研究実績」参照)

#### 地域活動について

毎年初夏に行っている「健康まつり」では、無料健康相談などを中心に、診療部も地域の方々への健康づくりに貢献したいと考えております。次年度も開催予定ですので、お気軽にお越しくださいませ。

## (2) 地域連携室

### 部門紹介

社会福祉士 2 名体制で、入退院支援や外来通院患者様や外来透析患者様の在宅療養を支援して参りました。

週 1 回実施されている合同カンファレンスにて患者様の支援状況の報告や、効率的な支援についての検討を行っております。

また、各部署の業務が円滑に行えるよう、支援を行っております。

### 平成 26 年度および平成 27 年度の取り組み

平成 26 年度は「介護支援連携指導」を 8 回実施致しました。その他の統計データは以下となります。当院は医療療養病床を有し、「在宅復帰機能強化加算」を届け出ていることから、平成 26 年 8 月より退院後の患者様のモニタリングを 38 件実施しております。

	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度
相談人数	60	71	58	41	56
相談件数	472	451	341	242	274
外来	175	199	125	121	102
入院	297	252	216	121	172

	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度
介護保険主治医意見書	114	97	85	92
身体障害者意見書	10	34	23	28
リハビリ診療情報提供書	41	14	6	23
年金関係書類(意見書)	7	15	15	19
その他紹介状	9	22	10	19
居宅療養管理指導(診療情報)	5	0	0	0
計	186	182	139	181

平成 27 年 3 月に厚生労働省より「地域医療構想策定ガイドライン」が示されました。当院地域連携室としましても、その内容は注目しており、ガイドライン内と言われる「慢性期」部分は、介護事業との関連がより深いものとなるため、このガイドラインに関連した政策情報等の収集や、地域連携担当者水準で取り組むことができる対策等の検討を日々行っております。

### 信頼され選ばれる病院を目指して ～患者様満足度向上の取り組み～

患者様や、ご家族の皆様とお話しをし、様々な不安の解消や、ご要望に応えられるよう業務に取り組まれました。また、入院された日から退院に向けての取り組みを行うことで、在宅復帰への患者様やご家族の皆様の不安解消に努めました。

### 研究・自己啓発活動について

平成 26 年度は地域包括支援センター主催の多職種連携会議や、地域包括ケア病棟についての研修、介護報酬改定の説明会に参加し、情報収集等を行いました。平成 27 年度も、地域医療構想や、平成 28 年度の診療報酬改定に関する研修等に参加予定です。

### 地域活動について

宇宿中仲お達者クラブへの出前講座を 6 月、11 月の 2 回実施しました。また、地域公開講座を 5 月に実施しました。

### (3) 薬剤科

#### 部門紹介

現在、薬剤師 4 名(常勤 4 名)と助手 1 名が勤務しています。

業務内容は処方箋監査、疑義照会、調剤、監査、配薬、服薬指導、院内の薬剤の適正使用に関わる事、各部署からの問い合わせ、薬品の発注、納品チェック、D I 業務、各部署の薬品管理、麻薬毒薬等の管理、統計業務など多岐にわたります。

日々自己研鑽に努めていきたいと思えます。

#### 平成 26 年度および平成 27 年度の取り組み

平成 26 年 10 月よりオーダーリングシステムが導入になったため院内のシステムの変更があり、院内のいろいろな部署と連携してシステムの構築を行ってきました。

システムの導入による効率化と職員の増員により、平成 27 年度からは入院患者さんへの薬剤指導や持参薬の聞き取り調査など病棟での業務に以前より多くの時間を割けるようになりました。今後は患者さんにしっかりと服薬意義などを理解してもらえるような指導を行って、患者さんのコンプライアンスやアドヒアランスの向上を目標に日々の業務に取り組んでいきたいと思えます。

H26 年度										H27 年度				
月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5
件数	2	3	5	2	3	4	2	2	2	4	8	6	6	24

平成 26 年度入院薬剤指導件数 43 件

平成 27 年度入院薬剤指導件数(4 月・5 月) 30 件

#### 信頼され選ばれる病院を目指して ～患者様満足度向上の取り組み～

平成 27 年度は他院受診されている患者さんの服用されている薬についての調査を行い、病態や薬について把握していくことで、薬の適正使用や重複投与、飲み合わせなどについても検討して行きます。

現在希望者のみに配布しているお薬手帳ですが、最近では他院を受診される患者さんも多くなってきましたので、有効な活用方法を模索するため、平成 27 年度は全ての患者さんに持っていたいただこうえお薬の管理が出来るような検討を行って行きます。

### 研究・自己啓発活動について

毎月当院で行われる薬の勉強会の他に、院外で開催されている勉強会に積極的に参加し、得られた情報を日々の業務へ活かせるよう自己研鑽に励んでいます。

#### ・院内研修

開催日	メーカー	薬剤名	参加人数
平成 26 年 4 月 28 日	鳥居薬品	リオナ錠	17 名
5 月 26 日	サノフィアベンティス	アプルウェイ錠	16 名
6 月 30 日	アステラス製薬	アコファイド錠	18 名
7 月 28 日	丸石製薬	プレセデックス注	17 名
8 月 25 日	グラクソスミスクライン	レルベア吸入	15 名
9 月 29 日	大正富山製薬	ゾシン注	17 名
10 月 27 日	塩野義製薬	クレストール錠	15 名
11 月 17 日	科研製薬	クレナフィン外用液	12 名
平成 27 年 1 月 26 日	テルモ	ニコペリック 腹膜透析液	15 名
2 月 23 日	陽進堂	カーボスター透析液	12 名
3 月 23 日	武田薬品	ザクラス錠 タケキャブ錠	15 名

#### ・院外研修

アステム主催・薬剤師会・メーカー主催の勉強会

### 地域活動について

腎臓いきいき教室やお達者クラブなどで、地域の方にも薬の正しい飲み方や注意して欲しい事など、スライドを交えて話しをさせてもらい、少しずつ地域での活動も増えてきました。

#### (4) 検査科 臨床検査チーム

##### 部門紹介

臨床検査チームでは、平成 26 年 11 月より新たな職員を加え 3 名の技師で検査を行なっています。業務内容は、生理検査では、頸部エコー、血管エコー、心電図、ABI 検査を主に行い、臨床検査では、生化学検査、末梢血液一般検査、尿検査、血液ガス分析検査などを行っています。免疫検査では、血液型検査、交差適合試験、不規則性抗体のスクリーニングを行っています。さらに今年度からは本格的に腹部エコー検査、心エコー検査も業務に取り入れました。検査数は年々増加傾向にあり、検査が重なって大変な時間帯もありますが、迅速に正しい検査結果が得られる様にマニュアルを遵守し、時間に追われながらも患者様と接するときは、穏やかにゆとりを持って接するように心がけています。

##### 平成 26 年度および平成 27 年度の取り組み

今年度から本格的に開始した腹部エコーは、月に 1~2 回程外部の認定超音波検査士の先生に来ていただき指導していただき、診療部の依頼に的確に答えられる検査ができるよう取り組んでいます。また今年度は、新たに下肢動脈エコーも実施できるように取り組んでいこうと考えています。

##### 信頼され選ばれる病院を目指して ~患者様満足度向上の取り組み~

平成 22 年 4 月より一般外来患者様の検査を院内にて実施しています。検査結果報告までの時間を 20~30 分とし、患者様の待っている時間短縮に努めています。全てのエコーの実施時間も 20~30 分で検査が終了できるようにしています。まだまだ改善しなければいけないところもありますが、1 分でも患者様の待ち時間を短縮し、且つ正確な検査結果が報告できるよう努力していきたいと思えます。

##### 研究・自己啓発活動について

検査技師会、超音波検査学会に入会し、検査技師会、超音波学会主催の学会や勉強会に進んで参加し、スキルアップに努めています。また検査結果に関しては、鹿児島県医師会、日本臨床検査技師会の外部精度管理にも参加し、精度を保っています。

##### 地域活動について

毎年 5 月頃に行なわれる『健康まつり』において、検査科として頸部エコーの IMT（内中膜複合体の厚み）測定を行なっています。また『腎臓いきいき教室』では腎臓病の検査という題目で患者様に判りやすく検査について説明しています。

## (5) 検査科 放射線チーム

### 部門紹介

放射線チームは診療放射線技師 2 名体制で、上山病院外来・病棟、うえやま腎クリニック外来の患者様の一般撮影（胸部・腹部等）、CT 検査、PTA の手術等の撮影を行っています。上山病院には一般撮影装置・透視台・CT 装置・外科用 C アーム、うえやま腎クリニックには一般撮影装置・透視台が設置されています。

2 名と少数部署の為、検査の内容や検査日によっては患者様にお待ち頂く事もありますが、外来、臨床検査チーム、医事課、総務課などと連携をとり、患者様の待ち時間をできるだけ短縮できる体制と、患者様が安心して検査を受けていただける部署づくりを目指しています。

### 平成 26 年度および平成 27 年度の取り組み

平成 26 年度の撮影件数は、別紙の通りです。

平成 26 年 10 月より臨床検査技師・診療放射線技師で腹部エコーの検査を始めました。超音波認定技師の方に腹部エコーを指導していただき、現在技師で腹部エコーに対応しています。取り組み始めて半年少々ですが、適切な報告書が返せるよう今後も技術・知識の習得を図っていきます。

### 信頼され選ばれる病院を目指して ～患者様満足度向上の取り組み～

マルチスライス CT や外科用 C アーム導入から 1 年経過しました。マルチスライス CT を導入したことで、検査に要する時間を大幅に短縮することができるようになり、以前は造影検査で 1 時間要していましたが、装置を更新したので 30 分程で終了できるようになりました。CT 単純撮影も以前と比べ検査時間が短縮されました。

C アームを導入し、PTA だけではなく、CAPD の術中対応や内頸カテーテル留置等対応する検査の幅が少し増えてきました。

検査で待ち時間が発生する場合は、医事課、総務課などと連携をとり、患者様に声掛けをしながらなるべく待ち時間を短縮できるよう心がけています。

### 研究・自己啓発活動について

放射線技師会等主催の研修や学会等に可能な限り参加し、知識を身につけるため研鑽しています。腹部エコーに対応する為、外部より講師を招き、腹部エコーの実地研修を実施しました。（平成 26 年 10 月～平成 27 年 3 月まで約 20 回）

### 地域活動について

5 月に開催された健康まつりに参加し、地域住民の皆さんとの交流を図っています。

## (6) 臨床工学科

### 部門紹介

上山病院臨床工学科は、臨床工学技士 7 名、助手 1 名の計 8 名で構成されています。透析監視装置台数は、上山病院 2 階透析室（74 台）、上山病院 3 階透析室（17 台）、ICU（1 台）です。

医療機器のメンテナンスを充実させ、安全で効率的な運用ができる環境作りを目指すと共に、患者様に安心して透析を受けていただけるよう、他職種と連携し技術向上に努めています。

### 平成 26 年度および平成 27 年度の取り組み

#### 平成 26 年度

- ・ エコーガイド下穿刺技術のレベル向上に努めました。
- ・ LDL 吸着療法（LDL アフェレシス）を患者様に提供できました。
- ・ 装置及び水質管理を充実させることにより、安全な透析療法を維持・継続することができました。

※水質管理データ（生菌検査データ）別紙参照

#### 平成 27 年度

- ・ HDF 認定装置 10 台の導入を進めていきます。
- ・ エコーガイド下穿刺の更なる技術向上を進めていきます。
- ・ LDL 吸着装置の導入を検討し、多くの患者様へ治療提供できるよう進めていきます。

### 信頼され選ばれる病院を目指して ～患者様満足度向上の取り組み～

安全で質の高い血液浄化療法を継続できるように、27 年度の臨床工学科目標を決定しました。

1. 医療機器の保守管理を充実させます。
2. アフェレシス分野を確実に行います。
3. 患者個々に合った血液浄化法を考えます。

### 研究・自己啓発活動について

平成 26 年 6 月に開催された第 59 回日本透析医学会にて 3 演題の研究発表を致しました。

『臨床工学技士のフットケアへの取り組み』～チーム設立から半年、現状と課題～

『医療の質の向上をめざして、全スタッフエコー下穿刺習得のための取り組み』

『トリプトファンとセロトニン（AN96 の長期使用による変化）』

平成 27 年 6 月 第 60 回日本透析医学会では『エコーガイド下穿刺技術を用いた穿刺教育プログラムの検討』を発表予定です。

### 地域活動について

毎年開催している「健康まつり」で AED の使い方を講習しました。

## **(7) 栄養科**

### **部門紹介**

栄養科は、管理栄養士1名、栄養士1名、給食業務委託先の栄養士1名および調理師・調理員3名で構成されています。業務内容は、患者様一人ひとりに合った食品構成の作成、献立作成とその展開、栄養管理、栄養指導・栄養相談、食材の発注・検品などです。

治療効果が高まり、なおかつ入院生活の中の楽しみの一つだと思っていただけるような食事の提供を心掛けています。また、食事摂取量が少ない方や栄養状態のあまり良くない方には、食事の内容や形態を工夫し、少しでも食事摂取量や栄養状態が改善されるように努めています。栄養指導・栄養相談では、主に腎臓病や透析の食事療法について、患者様の立場になってわかりやすく伝えることを心掛けてお話ししています。

### **平成26年度および平成27年度の取り組み**

平成26年度は「CKD 予防ネットワーク」が始まったこともあり、外来の栄養指導件数が増えました。早い段階で食事療法を行うことの大切さをお伝えし、患者様をサポートできるよう取り組んでいます。

平成27年度は、透析を導入される入院患者様のご家族を対象に当院の食事を試食していただく「腎愛キッチン」をスタートさせ、患者様だけでなくご家族も透析の食事療法について理解を深める機会を作っていきたいと考えています。

### **信頼され選ばれる病院を目指して ～患者様満足度向上の取り組み～**

喫食・嗜好調査を入院患者様対象に年4回行っており、患者様の嗜好の傾向を把握するようにしています。その結果や食事への意見などを参考に献立に反映させられるように取り組んでいます。

患者様のなかには食事療法に対して不安を持っている方が少なくないので、しっかりと話を聞き適切なアドバイスができるように努めています。

### **研究・自己啓発活動について**

栄養士会に入会し、食・栄養に関する研修会に積極的に参加しています。学んだことや得た情報を業務に活かせるよう自己研鑽に励んでいます。

### **地域活動について**

年に6回、外来患者様向けの腎臓いきいき教室で食事療法のお話をしています。教室では、味付けや食事量について参考にさせていただきたいと思い、腎臓病食の試食も行っています。

5月に行われた健康まつりでは栄養相談のコーナーを設け、食事に関する相談に応じました。

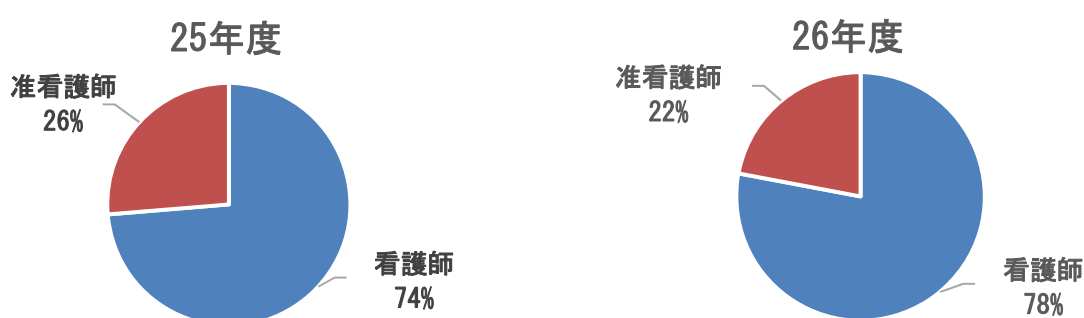
## (8) 看護部

### 部門紹介

#### 【概要】

腎愛会看護部は、病棟、透析室、外来・手術室・中央材料室の3単位とうえやま腎クリニックの1単位を統括して、4単位合同で連携を取り看護活動を展開しています。看護部及び看護教育の理念、基本方針を拠りどころとし、安心安全な看護提供の責務を全うすべく自己育成できる人材の育成に取り組んでいます。今年度は、3名の准看護師が看護学校を卒業し、看護師国家資格を取得することができました。個々の目標を、看護職全員がサポートしあう風土が確立しつつあります。

#### <看護師と准看護師の割合>



#### 平成 26 年度および平成 27 年度の取り組み

当院独自のクリニカルラダーを作成し取り組みはじめ、2年が経過しました。昨年、レベルIを取得した職員のうち2名が今年度、レベルIIの取得に至っています。また、法人の理解と協力もあり、レベル取得時には、全体朝礼にて、院長より認定書の授与や昇給への反映もシステム化することができました。当院のクリニカルラダーは、個々の成長度の自覚とキャリア開発ができる、組織の求める人材が育成できる、能力評価のツールとなり透明性が図れる仕組みになっています。このシステムを、看護部の活動報告として、H25年9月の院内研究発表会にて、報告させていただきました。まだまだ課題はありますが、当院の目指す看護師像の育成の基盤となっています。

#### 信頼され選ばれる病院を目指して ～患者様満足度向上の取り組み～

看護部が目指す患者満足度向上への取り組みとしては、看護の質向上と人材育成があります。平成25年設けた教育師長は、日本看護協会が定める看護管理者研修（ファーストレベル）の認定を取得し、看護の質向上や人材育成に努めました。透析室に導入した教育チームは、切磋琢磨しながら刺激し合い、1ブロックから2ブロックへと役割拡大でき、大きな成長へと繋がっています。また、今年度は、「看護倫理」「看護記録」「救急時の対応」についての院内研修を各セクション、3回ずつ開催しました。参加率は67.3%、アンケートからは、“理解できた”との回答が多くありました。

### **研究・自己啓発活動について**

今年度、院外へ向けは、第 31 回九州 CAPD 検討会に「行動変化モデルを用いた HD から PD 移行の高齢患者と家族への取り組み」と題し看護師が、昨年に引き続き慢性期施設合同研修会では、「排痰法の援助を通して～ケアスタッフとしての関わりを学ぶ～」として、ケアスタッフが発表しました。また、院内研究発表会では、看護部から 3 題発表することができ、日頃の自分たちの活動や学びをまとめ、発表することで、自信と成長に繋がってきていると感じます。

昨年に引き続き、院外研修には、個人が関心のあるものや学びたいものに最低 1 つは参加することを目標に取り組みました。自分のキャリアビジョンを描き、目標を持って、自己啓発に取り組む意識が少しずつ根付いているように感じます。

### **地域活動について**

毎月行われます宇宿商店街のおじゃったもんせ市で、今年度も血圧測定・骨密度測定の検査や、健康相談コーナーを担当しました。途中、骨密度器械の故障と地域の方々の参加人数の減少により、参加を見送る形となりましたが、地域の方々と触れ合うよい時間となりました。また、今年度も健康祭りが開催され、多くの看護職が参加し、地域の方々の健康の保持・増進に努めることができました。

## (9) 外来・手術室

### 部門紹介

当院外来は、一般内科・腎臓内科・人工透析内科・循環器内科・禁煙外来を掲げておりますが、近年様々な疾患の方が、身近な医療機関として受診して下さるようになりました。循環器医師が常駐し、高血圧・糖尿病・高脂血症などの生活習慣病の指導も充実しています。さらに血管外科医師による診察・小外科手術・処置も行っております。診察や検査結果により、専門医への紹介など適切な医療を心がけています。

また職場健診・二次健診・特定健診・学童腎検にも確実に対応してまいります。

外来看護師は5名体制で、外来診療業務のほかに、検査（エコー・CT・ホルター心電図など）、手術（シャント関係・PTA・CAPD カテーテル挿入）中材管理を担当しています。外来チームとして医事課・地域連携室・検査科・薬剤・栄養科などと連携し、患者様の QOL 向上を目指し、その人らしさを大切にしながら、支援できるよう努めています。

### 平成 26 年度および平成 27 年度の取り組み

26 年度の取り組みは、①「患者本位のための外来診療を充実させ、患者増加を図る」②「手術看護の充実とスキルアップを図る」でした。CKD 予防ネットワークからの紹介も多くなり、CKD 段階別指導にも力を入れてきました。27 年度はステージ別指導を徹底、腎教室参加を促し、計画的な導入と CKD 看護の向上を図ります。またフットケア外来の充実と多様な手術に対応できるよう、技術向上に努めます。

平成 26 年度 外来手術・検査数

シャント関連				PTA	CAPD関連	その他	ホルター心電図	心エコー
内シャント設置術	人工血管置換術	血栓除去術	その他					
24	9	3	7	144	11	5	54	342
43								

### 信頼され選ばれる病院を目指して ～患者様満足度向上の取り組み～

患者様の受診目的や病状、ニーズに沿った医療、看護を提供するには、まず気持ちよく、安心して受診していただくことと、「また来てみようかな。」と思っていただくことと考えます。そのためにも私たちスタッフが、優しい笑顔・丁寧な言葉づかい・穏やかな態度で対応するよう心がけています。また待ち時間が長くないように、受付・医事課・検査部門などと連携し、情報を共有しながら「目配り・気配り・心配り」の実践に努めています。

### 研究・自己啓発活動について

在宅治療である CAPD 全般・認知症看護・弾性ストッキングコンダクター・滅菌業務・禁煙外来など様々な研修にできる限り参加し、幅広い外来業務に対応できるよう各自励んでいます。

### 地域活動について

腎臓いきいき教室は年に 6 回、公開講座として開催しています。案内は主に外来スタッフが行っていますが、各部署の専門スタッフが講師を務め、26 年度は、60 名が受講され好評でした。健康祭りやおじゃったもんせ市にも参加し、当院をよりよく知っていただく機会にもなっています。

## (10) 透析室

### 部門紹介

透析室は、同時透析ベッド数 74 床で、月・水・金は 2 クール（午前/午後）、火・木・土は 1 クール（午前）で約 195 名、ハイブリット透析 5 名の患者様の透析を行なっています。

看護スタッフは看護師 20 名、准看護師 6 名、ケアスタッフ 9 名、計 35 名と医師・臨床工学技士・ソーシャルワーカー・医療事務と連携をしながら業務を行っています。

透析患者様の現状は、高齢化に伴い 65 歳以上（112 名）が全体の 58.3%を占めています。その為、ADLの低下、認知症など介護を要する患者様が増加しており、透析中の看護・ご家族との情報交換などが重要になります。また、護送・担送者も多いため、転倒・転落等の事故を未然に防げるよう看護スタッフで細心の注意を払い、安全の確保に取り組んでいます。

### 平成 26 年度および平成 27 年度の取り組み

昨年 10 月オーダーリングの導入により、フューチャーネットが一部オフラインとなりました。それに伴い業務が多様化（透析記録用紙の紙媒体へ変更）し、導入前はスタッフの不安や戸惑いもありましたが、現在では記録の重要性・意味を再認識することができました。また、血圧未測定によるインシデントも減少しています。今後も、業務改善に積極的に取り組み、患者様に安心・安全な透析治療を提供できるよう努力していきます。

昨年 12 月から看護体制の教育チームを 2 ブロックに拡大しました。スタッフが、統一された透析看護・技術の学びをより多くの患者様に提供できるよう、今後も新人教育・育成に取り組んでいきます。

### 信頼され選ばれる病院を目指して ～患者様満足度向上の取り組み～

今年も部署目標に掲げている「心配り・目配り・心配り」相手を思いやる気持ちをモットーに、患者体験・丁寧な言葉使いを継続していき、より一層の信頼関係を築いていけるよう努力していきます。また、「患者満足度調査」のアンケート結果や指摘を謙虚に受け止め、患者様の目線で考える看護ケアを提供していきます。

5S活動の、整理・整頓・清潔・清掃・躰を基本に環境美化にも努め、患者様が心地良く安心・安全な透析治療を受けられるようスタッフ一同で取り組んでいきます。

### 研究・自己啓発活動について

今年も 6 月に開催された日本透析学会で「終末期看護を考える」をテーマに発表することができました。資格取得については、昨年の 7 月に透析技術認定士の試験に 2 名が合格し、今年は 1 名の看護師が挑戦しました。また、今年の看護師国家試験に 1 名が見事合格し正看護師資格を取得することができました。これらの活動が、各自の自信に繋がり大きく成長することができたと考えます。

### 地域活動について

夏休みを利用して行う「ふれあい看護体験」、腎愛会主催の「健康まつり」に腎愛会の一員として積極的に参加し地域活動に取り組んでいます。

## (11) 病棟

### 部門紹介

腎疾患を中心とした内科疾患に対応する医療療養病棟です。腎代替療法では患者自身の意思決定が重要です。医師と連携して情報提供を行い、納得のいく療法選択ができるよう支援しています。そして血液透析、腹膜透析の導入期指導や合併症管理にも力を入れています。また理学療法士を中心に、リハビリにも取り組んでいます。PTA やシャント手術、血栓除去術など短期入院の患者様も多く入退院の激しい病棟ですが、他部署と協力しながら治療が受けられるよう笑顔を中心掛けて日々頑張っています。常に患者様が安心・安全に療養生活を送ることができるよう、これからも看護実践能力の向上に努めていきます。

### 平成 26 年度および平成 27 年度の取り組み

血液透析と腹膜透析の導入期指導充実をめざし、血液透析導入期パンフレットを見直し、指導表と評価基準の作成、腹膜透析ケアマップ改定とマニュアル整備を行いました。看護記録を充実させ、申し送り時間を短縮し、ケア時間の確保に努めました。またオーダーリング導入では問題も多く苦労しましたが、検討を重ね指示受けやリーダー業務の効率化にもつながりました。以前は半年程度かかっていた新入職者の夜勤開始を入職 2~3 か月から始め、6 回指導看護師とペアで行うことで負担感の軽減に努めました。病棟のレクリエーション活動では、演奏会や七夕会、クリスマス会、お花見などを企画し、少しでも入院生活が楽しいものになるよう工夫を凝らして取り組みました。今後も働きやすい職場づくりのため業務改善を行うと共に、患者様にとって安心できる療養環境となるよう、スタッフ一丸となり取り組んでいきたいと思ひます。

【平成 26 年度の導入実績】 腹膜透析導入 6 名 血液透析導入 18 名

### 信頼され選ばれる病院を目指して ～患者様満足度向上の取り組み～

カンファレンスや看護記録を充実し情報共有したことで、ニーズにそった看護の提供ができるようになりました。また病状や治療方針の説明などにも看護師が必ず同席し記録に残し、不安や疑問へ即座に対応することで、患者様ご家族の安心にもつながりました。医師と連携することで、さらに信頼関係を築くことができます。今後も患者様とのより良いパートナーシップを目指して頑張っていきたいと思ひます。

### 研究・自己啓発活動について

「血液透析導入 2 か月で腹膜透析へ移行した一症例からの学び」院内研究発表会

※平成 27 年九州 CAPD 検討会で発表予定

【資格および免許取得実績】

ケアスタッフ 2 名が介護福祉士、1 名が衛生管理士を取得しました。

また通信制課程を修了し看護師免許取得 1 名がありました。

その他、各自目標達成に向け院外研修等で自己研鑽に励みました。

部署内研修では、口腔ケア、安全な爪切り、急変時対応、移乗介助について実施しました。

### 地域活動について

毎年恒例の健康祭り参加や、宇宿商店街でのおじゃったもんせ市での健康相談などを通して地域の健康づくりにも貢献しています。今後も引き続き地域に貢献できるよう取り組みたいと思ひます。

## (12) 事務部

### 部門紹介

事務部は、医事課、総務課、施設課で構成されており、上山病院並びにうえやま腎クリニックの受付、医療事務、庶務、施設管理、患者送迎、清掃等の業務を担当しています。

平成 26 年 8 月より、新たな陣容となり、事務部だけでなく医療職を始めとした他部署との協働が円滑に進むよう努めてまいりました。平成 27 年度はそれに加え、持てる資源（人材・資金・設備・方針）を活かすための情報収集およびその伝達と共有ができる事務部門を構築すべく努力していきます。

### 平成 26 年度および平成 27 年度の取り組み

これまで以上に部署間の連携・情報共有を円滑にするため、平成 26 年 9 月より各部署長を構成員とした幹部会議をスタートしました。第 1 回目は外部講師をお招きし「病院運営と管理職のあり方、姿勢」について講演いただきました。それ以降も継続的に開催し、新たな人事制度の構築に向けての検討なども行いました。

平成 27 年度は幹部会議にて検討・構築した新たな人事制度に取り組む予定です。また事務部門として各種データの分析、それを元に提案する力が不足しているため、各課がそれぞれ自覚を持ち業務水準を向上するため、院内外の研修参加等を積極的に行います。

また、事務部門だけでなく全ての部署が事業計画への積極的な参画が出来るよう、情報発信をしていきます。

### 信頼され選ばれる病院を目指して ～患者様満足度向上の取り組み～

ご意見箱をはじめ患者様よりいただいた要望・意見等について、今後も真摯に対応してまいります。

それに加え、患者様満足度の向上は働いている職員の満足度が高くなければ、実現できないことから、職員がより働きやすい職場となるよう、福利厚生 of 更なる充実のため検討、実行していきます。

### 研究・自己啓発活動について

それぞれの専門知識や技術の習得ならびに資格取得を推進します。また、これまで十分でなかったデータ分析、より細かな経営分析を実行すべく職員一人ひとりが具体的な目標を掲げて、1年間を通して成長できるような環境作りに努めます。

新たな試みとして、院内研究だけでなく院外での発表にも目を向けていきます。

### 地域活動について

この宇宿の地に前身の上山内科クリニックを開設してから 35 年目を迎えました。腎愛会は今後も地域の皆様の「頼れるかかりつけ医」であり続けるために、毎年開催している「健康まつり」や「地域公開講座」を継続していきます。

## (13) 医事課

### 部門紹介

私たち医事課は、診療に関する事務的業務の玄関口の役割を担っています。受付・一般外来・透析外来・入院の保険請求事務、各種書類の手続き、未収金管理、診療録管理に加えて、透析室・病棟でのクラーク業務を兼務しています。

また、診療に関する集計業務・統計資料作成や施設基準等に係る手続き・実施報告も担当しています。他部署との連携を図りながら、医療サービスの提供に努めています。

### 平成 26 年度および平成 27 年度の取り組み

平成 26 年度は、オーダーリングシステム導入に向けた様々な検討がなされ、他部署との連携も密に取り、スムーズな導入へと運ぶことができました。このことにより、診療情報の一元化が共有化へと繋がり、業務の効率も図ることができました。しかしながら、紙カルテとの併用で完全とまでにはいかない部分もあるため、今後は電子カルテ導入に向けての検討も視野に入れていきます。また、院内での診療報酬に関するコスト意識をもってもらうために、他職種への説明・報告・相談を行い、埋もれた診療点数の発掘にも努めました。

平成 26 年度の施設基準新規申請は、在宅復帰機能強化加算、糖尿病合併症管理料の 2 項目がありました。27 年度は、運動器リハビリテーションⅢ取得に向けて準備中です。

### 信頼され選ばれる病院を目指して ～患者様満足度向上の取り組み～

笑顔は、言葉を越えた最高のコミュニケーションツールとなることから、「明るい笑顔」をモットーに、話しかけやすい・相談しやすい受付対応に心掛けています。また、治療費や各種書類申請、福祉制度に関することなど、わかりやすく丁寧な説明を行っています。電話対応では、日本電信電話ユーザー協会主催の「電話対応コンクール」に毎年参加し、技術向上に努めています。

### 研究・自己啓発活動について

- ・「保険診療につながる診療録の在り方」と題して、院内研究発表を行いました。
- ・保険請求、接遇等に関する各種院外研修へ参加しています。
- ・電話対応コンクール（テープ審査会）に参加しています。
- ・医事課内には茶道部員も多く、年 2 回職員への抹茶点て出しを行い、癒しの一時を提供しています。

### 地域活動について

- ・腎臓いきいき教室のメンバーに入っており、腎臓保存期の患者様のサポートを行っています。
- ・法人主催の健康まつりに参加し、多くのみなさまに喜んで頂けるよう、地域医療活動に取り組んでいます。

## (14) 総務課

### 部門紹介

総務課は職員 3 名で対応しています。受付業務は電話対応・外来患者様受付・入院患者様面会受付、また業者さんや一般のお客様の受付等、庶務業務は職員の入退職の準備・慶弔関係の庶務・朝礼や院内の行事などに関する業務、職員の出張費・研修費の手配などを行っています。患者様が安心して受診できるような環境づくりと、職員が安心して楽しく働ける環境を整えるために日々業務に臨んでいます。

### 平成 26 年度および平成 27 年度の取り組み

平成 26 年度は、患者様が使いやすいように待合室のレイアウトを変え、患者様が安心して受診できるような環境作りに取り組みました。また様々な来客に的確に対応ができるように工夫し、より良い接遇にも取り組みました。また、職員の楽しく働ける環境を作るため、職員講座を企画し、5 月に「大人のラジオ体操」、11 月に「個性心理学でコミュニケーション力をつける」を開催しました。

平成 27 年度は総合受付業務 2 名(1 名は産休中)、庶務業務 2 名で対応します。

受付業務では医事課との連携を取り、よりの確な対応ができるよう、接遇マナーも強化していきます。

庶務業務では法人全体の業務が円滑に進むように、部署間の連携体制を強化します。また、去年に引き続き職員に向けての職員講座を企画し、職員が働きやすい環境を作っていきます。

### 信頼され選ばれる病院を目指して ～患者様満足度向上の取り組み～

患者様との接遇では挨拶・表情・身だしなみ・態度・言葉づかいに気をつけ、また職員に対しても好感もてる接遇ができるよう、全職員の模範となるように心がけています。また、待合室の環境整備・清潔・美化に心がけ、患者様に快適にお過ごしいただける様に掃除や点検を確実に行っていきます。

### 研究・自己啓発活動について

それぞれの仕事の目標をふまえた外部研修に参加し、個々のレベルアップを図っていきます。また、介護・在宅・福祉制度に関する知識を深め、今後の法人の方針に沿って対応できるようにしていきます。

### 地域活動について

健康まつり・地域公開講座などのイベントに積極的に参加しています。

## (15) 施設課

### 部門紹介

施設課は運転チーム 8 名、清掃チーム 5 名、保安業務 1 名及び運転業務委託 4 名の 18 名で構成しています。

送迎用の車両はワゴンタイプ 5 台、軽自動車 1 台で運営しています。

運転チームは、透析患者様の送迎を主な任務とし、鹿児島市内、吹上・伊集院方面の他、遠くは東市来・穎娃・知覧・川辺方面を送迎しています。また上山病院・うえやま腎クリニックの建物・設備機器全般の維持管理として、空調機のフィルター・換気扇の清掃、消防設備機器・車いすの点検や、防犯巡回等の業務を行っています。

清掃チームは、上山病院・うえやま腎クリニックの院内各フロアの床清掃・ゴミ回収・じゅうたん清掃・浴槽清掃の他、建物周りなど細部にわたり清掃業務を行っています。

### 平成 26 年度および平成 27 年度の取り組み

1. 無事故・無違反を推進するため安全運転管理者を選任しています。
2. 運転技能研修では、他の職員に同乗してもらい乗り心地や運転操作などについて意見をもらい、運転技能向上の取り組みを行いました。
3. 月に 1 度、乗降介助研修や勉強会を開催し、送迎運転の安全性向上に努めています。
4. 透析室と連携し、穿刺待ち時間の改善のため送迎順番の見直しを行っています。
5. これらの取り組みから、患者様に安全で安心なやさしい送迎業務を今後も実践します。
6. 施設管理業務に力をいれ、建物及び設備の状態維持及び改善ができる様、日々の管理・点検を行っています。

清掃チームは、清掃業務の標準化を図る目標をたて、清掃業務の基本や清掃用具の取り扱いについて研修を行い、清掃技術のレベルアップに努めました。平成 27 年度も清掃研修・ラウンドを通じ清潔で綺麗な病院清掃、安全な清掃作業を行います。

### 信頼され選ばれる病院を目指して ～患者様満足度向上の取り組み～

運転チームでは、患者送迎の目標である「交通ルールを厳守し、地域の模範となる人に優しい送迎サービス」を目指し、安全運転管理者を中心に「無事故・無違反」を実践していきます。

病院内外の清掃では、施設課スタッフ全員で、清潔で快適な施設環境を整え、患者様はじめ来院される方々が、毎日気持ちよくご利用頂けるように取り組んでいきます。

### 研究・自己啓発活動について

1. 院内研修に積極的に参加し、腎愛会の医療・接遇について知識を広げていきます。
2. 安全で安心な送迎業務を行うため外部研修（福祉車両運転者講習）を毎年 2 名受講し、車両事故・転倒事故の防止に努めます。
3. 清掃技能研修（DVD 研修など）を定期的に行い、清掃技術を高めます。

### 地域活動について

健康まつりでは、案内垂れ幕・テント設営・駐車場の整理を行っています。年 2 回行われる患者様との懇親会に積極的に参加し、親睦を深めています。また美化活動として、病院周りだけではなく、職員駐車場付近まで範囲を拡げ清掃しています。

## (16) うえやま腎クリニック

### 部門紹介

うえやま腎クリニックは、外来診療と昼間の透析治療に対応しています。透析室はベッド数40床で、ADLの自立している方が70%を占めています。

外来では、長期にわたる腎臓病の治療を、保存期からフォローする腎臓内科に加え一般内科も掲げております。生活習慣病や季節性の感染症などの治療を通して、地域のかかりつけ医として親しまれています。

スタッフは子育て中の職員が半数以上を占めており、子育て支援が叫ばれる中、個々に応じた勤務時間内で協力体制を作り上げています。毎日の業務は、勤務時間内に完了できる体制で、残業が少ないのも魅力の一つと考えています。

### 平成26年度および平成27年度の取り組み

透析が長期化すると、年齢も高齢化しさまざまな合併症を引き起こします。当院も75歳以上の後期高齢者が25%を占めるようになりました。より安心・安全な透析治療を目指す為に、臨床工学技士・看護師・ケアスタッフ一丸となって透析医療・看護に取り組んでおります。

介護保険が適応される方も増加傾向の為、上山病院のソーシャルワーカーと情報を共有し、均一な看護サービスの提供や、質向上にむけた情報の運営に力を入れています。

### 信頼され選ばれる病院を目指して ～患者様満足度向上の取り組み～

看護部では看護の知識・技術の向上を目指し、クリニカルラダーレベルの取得に向け精進しています。約13%の看護師がレベルIを取得し、更にもその中でレベルIIの取得者もおり、患者の皆様一人一人にあった看護サービスを提供できるように、それぞれの目標であるレベル取得に向け日々精進しています。また、5S活動（整理・整頓・清潔・清掃・躰）を推進し、患者様により安全で安心な透析治療をご提供できるよう、スタッフ一同で取り組んでいきます。接遇に関しても「患者目線で考える透析看護のあり方」を継続していきます。

### 研究・自己啓発活動について

3月に慢性期施設合同研修で「排痰法への援助を通して～ケアスタッフとしてのかかわり方を学ぶ～」をテーマとして発表することができました。また鹿児島で行われた日本フットケア学会に参加し、チーム医療についてまた、足について正しい知識と技術を学ぶ事が出来ました。

通信制にて看護師国家資格を目指す准看護師もおり、今年は2名が合格し、看護師資格を取得することができました。また透析技術認定士にも挑戦し、3名が受験しています。

### 地域活動について

夏休みを利用して行う「ふれあい看護体験」への募集を積極的に行っております。また腎愛会主催の「健康まつり」では、地域の人々との交流を大切にし、健康へのサポートに少しでも貢献できるように取り組んでいます。

## (17) 法人本部 経営管理室

### 部門紹介

経営管理室は、平成 24 年度の事務部門組織再編により新設され、平成 26 年度で 3 年目を迎えました。主な業務として、①人事・給与業務、②経理・財務業務、③広報や、院内研修・各種研修や会議の取りまとめ、情報システム機器や院内設備のハードソフト面の導入支援・運営管理、ネットワークセキュリティ対策を担当する企画業務の 3 つがあります。

現在は常勤 4 名、事務補助パート職員 1 名体制で、日々の業務にあたっています。

平成 27 年度から導入される新人事制度での目標管理・人事考課、その他法人全体に関わる行事・イベントの企画・運営も担っており、一人ひとりに幅広い対応力が求められている部署です。

### 平成 26 年度および平成 27 年度の取り組み

- ① 人事・給与：平成 26 年度は、これまでの制度をより当法人に合わせたものにするために、新たな人事制度の設計・構築を担当しました。基本的な部分の立案をし、今年度から新たに設けられた幹部会議での協議・修正を経て、平成 27 年度より稼働する予定です。今回は新たに評価を処遇反映する仕組みも本格的に取り入れました。福利厚生充実と合わせて、職員がより働きやすく、よりやりがいのある環境を目標に取り組みをすすめます。
- ② 経理・財務：平成 26 年度は、システム構築できた部門別原価計算を月次報告業務の中に新たに加えました。また経理業務に携わる職員が 2 名体制になったことにより、月次速報、中長期的な資金繰り表の作成もできました。平成 27 年度は更に安定した経営体質を構築できるように充実した経営判断資料の提供を行っていきます。
- ③ 企画：平成 26 年度 10 月よりオーダーリングシステムを導入いたしました。また院内 LAN の見直しを行い、2 つのネットワークへ分ける作業を行いました。平成 27 年度はマイナンバー制度への対応、院内 LAN のセキュリティ強化、パンフレットのリニューアル等を行っていきます。

### 信頼され選ばれる病院を目指して ～患者様満足度向上の取り組み～

意見箱を通じて患者様の声を集め、各部署への改善取り組みを促しています。

また、患者様満足度の向上には、職員満足度の向上が大きく影響すると考えます。平成 26 年度には全職員を対象にした職員満足度調査を実施しました。今回の実施結果を基に、更なる職員満足度向上への施策を実施すべく、企画立案に取り組みます。また平成 27 年度に向けて、福利厚生施設である霧島山荘の改修工事を行いました。多くの職員の方々が利用できるように、適正な運営に努めて参ります。

### 研究・自己啓発活動について

人事労務に関する関連法規、人事制度、財務・経営分析、ネットワーク関連の研修に参加し病院の適正運営に寄与してまいります。

また、法人運営の縁の下の力持ちとして、個々の「人間力」向上を目指し、業務内外での自己啓発にも、部署一丸となり積極的に取り組んでいきます。

### 地域活動について

宇宿商店街おじゃったもんせ市(月 1 回)の運営補助を担当。

## 6 研究実績

### (1) 発表

年月日	演題	発表者	学会名	会場名
平成26年6月13～15日	トリプトファンが低値を示した透析患者に対してAN69膜とPS膜でのクロスオーバー評価	柿ノ谷	日本透析医学会	神戸国際会議場
平成26年6月13～15日	臨床工学技士のフットケアへの新たな取り組み～チーム設立から半年、現状と課題～	鎌田	日本透析医学会	神戸国際会議場
平成26年6月13～15日	医療の質の向上をめざして、全スタッフエコー下穿刺習得のための取り組み	情家	日本透析医学会	神戸国際会議場
平成26年6月13～15日	当院におけるVAプロジェクトチームの取り組み～エコー下穿刺技術の共有～	坂元	日本透析医学会	神戸国際会議場
平成26年7月26日	行動変化モデルを用いたHDからPD移行の高齢患者と家族への取り組み	赤池	九州CAPD検討会	福岡県中小企業振興センター
平成26年9月21日	一般演題 セッションⅢ	鎌田(嗣)	第21回鹿児島県臨床工学研究会	鹿児島県市町村自治会館

### (2) 会長・座長など

年月日	演題名	氏名	学会名	会場名
平成26年6月7日	・ネスプ開発の経緯 ・鉄代謝から見た透析患者の貧血治療戦略	上山達典 (座長)	鹿児島透析合併症対策講演会	城山観光ホテル
平成26年6月19日	糖尿病性腎症と動脈硬化	上山達典 (座長)	第4回動脈硬化血管治療戦略懇談会	レンブランドホテル 鹿児島
平成26年6月26日	透析効率の考え方	上山達典 (座長)	鹿児島県透析医会 学術講演会	城山観光ホテル
平成26年7月13日	Session1 PDやってみませんか? Session3 PDカテーテル留置術	上山達典 (座長)	日本腹膜透析医学会 第9回PDセミナーin鹿児島 ～PDの夜明け～	鹿児島県医師会館
平成26年8月6日	ハイリスク患者の糖尿病治療戦略	上山達典 (座長)	鹿児島実地医師の会 ～ハイリスク患者の 糖尿病治療戦略～	城山観光ホテル
平成26年8月28日	多発性嚢胞腎-もうひとつのCKD-	上山達典 (座長)	ADPKD(常染色体優性 多発性のう胞腎) 学術講演会	城山観光ホテル
平成26年8月31日	～統合医療の目指すところ～	上山達典 (座長)	日本統合医療学会	城山観光ホテル
平成26年9月25日	透析患者の心合併症 ～カルニチンは有用か～	上山達典 (座長)	鹿児島県透析医会 学術講演会	鹿児島東急イン
平成26年10月7日	慢性腎臓病とリン代謝	上山達典 (座長)	リオナ錠発売記念講演	城山観光ホテル
平成26年11月22日	HDFの現状と将来展望	上山達典 (座長)	血液浄化技術講演会	ブルーウェーブイン 鹿児島
平成26年11月25日	心血管石灰化の不思議 -心血管疾患を考えたCKD-MBD治療-	上山達典 (座長)	鹿児島CKD-MBDセミナー ～転換期を迎えるMBD治療～	城山観光ホテル
平成27年2月19日	透析患者に対する運動療法 ～腎臓リハビリテーションの効果と実際～	上山達典 (座長)	鹿児島県透析医会 学術講演会	城山観光ホテル
平成27年3月10日	腎臓を守る手助けになにができるか?	上山達典 (座長)	鹿児島CKD updateセミナー	城山観光ホテル

### (3) 院内講演会

年月日	演題名	講師
平成26年6月12日	CKDと病診連携	上山達典

### (4) 講師

年月日	演題名	氏名	主催	会場名
平成26年6月8日	「透析生活において大事なこと」	上山達典	NPO鹿児島県腎臓病協議会	指宿市民会館
平成27年3月6日	認知症の予防	新村健	お達者クラブ	宇宿福祉館

### (5) 院内研究発表会（平成26年9月25日）

	演題名	発表者
1	長期透析患者の手洗いについて意識と行動の実態調査	2階透析室 ○満留 濱崎 板敷 福永
2	クリニカルラダーの導入による魅力ある職場づくり ～活動報告～	看護部 ○栗野 三原
3	超音波検査報告書・依頼書見直し検討	検査科 臨床検査T ○立和名 木下
4	A原液の使用量を減らせ TQC活動	臨床工学科 ○情家 鎌田 仕田 鎌田(嗣) 鮫島 柿ノ谷 有馬
5	保険診療につながる診療録の在り方	医事課 ○的場 石窪 東久保 大藪 馬見新
6	血液透析導入2ヶ月で腹膜透析へ移行した一症例からの学び	病棟 ○小湊 鍋倉 伊地知

## 7 院内研修開催実績

### (1) 法定研修

日時	テーマ	講師	主催	参加人数
5月15日	褥瘡と栄養	栄養科 中西	褥瘡対策委員会	44名
9月30日	透析治療におけるヒューマンエラー	臨床工学科 有馬	医療安全委員会	129名
10月9日	スタンダードプリコーション	病棟 有馬	感染対策委員会	
	医薬品の安全使用について	薬剤科 吉村	薬剤科	
2月10日	災害に強い透析室 「スタッフみんなで創る災害対策」	臨床工学科 有馬	医療安全委員会	126名
2月12日	ワクチン接種後抗体ができるまで	透析室 満留・新屋敷	感染対策委員会	
	医薬品の安全使用について ～ハイリスク薬について～	薬剤科 吉村	薬剤科	

### (2) 教育委員会主催

日時	テーマ	講師	参加人数
4月24日	体験からの学び	発表者 6名	62名
6月12日	CKDと病診連携	理事長 上山達典	54名

### (3) 看護部研修

日時	内容	講師	参加人数
5月22日	倫理研修	看護部 師長 三原	23名
6月26日	看護記録	看護部 師長 三原	17名
7月15日	BLS勉強会	臨床工学科 鎌田	43名
9月4日	看護倫理の基礎	病棟 有馬	33名
10月14日	看護記録	病棟 堀之内	18名
11月11日	BLS勉強会	臨床工学科 鎌田	24名
11月27日	おむつの当て方	外部講師	7名
12月4日	看護倫理について	透析室 佐藤	11名
1月8日	看護記録	病棟 小湊	6名
2月24日	BLS勉強会	臨床工学科 鎌田	14名

## (4) ケアスタッフ研修

日 時	内 容	講 師	参加人数
5月20日	ケアスタッフ研修計画・業務規程について	栗野看護部長	15名
6月11日 6月12日	口腔ケア・爪切り	病棟 花蘭・小湊	13名
7月15日	AED・BLS勉強会	臨床工学科 鎌田	14名
9月4日	看護倫理について学ぼう	病棟 有馬	17名
1月28日	移座えもんシートを使って効果的な 介護技術を学ぼう	病棟 竹之内・中峯	15名

## (5) 一般職研修

日 時	テーマ	講 師	参加人数
4月23日	頭痛について	会長 新村健	8名
5月28日	肥満症について	会長 新村健	9名
6月25日	診療契約について	会長 新村健	8名
7月23日	患者からの質問にどう回答すべきか	会長 新村健	6名
9月24日	ロコモについて	会長 新村健	9名
10月22日	「病院の言葉」について	会長 新村健	7名
11月26日	「病院の言葉」について②	会長 新村健	7名
12月24日	認知症を正しく理解する	会長 新村健	7名
1月28日	認知症を正しく理解する②	会長 新村健	10名
2月25日	コレステロールについて	会長 新村健	8名
3月25日	運動の重要性	会長 新村健	7名

## (6) 新入職者研修

日 時	テーマ	講 師	参加人数
3月29日、30日	霧島宿泊新人研修	理事長 上山達典 外部講師 池田剛先生	6名
4月1日、2日	新入職者研修	各部署・委員会	9名
5月27日、28日	中途採用者研修	各部署・委員会	5名
7月15日、17日	中途採用者研修	各部署・委員会	4名
8月19日、20日	中途採用者研修	各部署・委員会	2名
10月21日、22日	中途採用者研修	各部署・委員会	2名
1月20日、21日	中途採用者研修	各部署・委員会	2名

## (7) 施設課接遇研修

日 時	内 容	講 師	参加人数
7月23・24日	接遇の基礎知識	医事課 課長 波江野	12名

## (8) 薬剤科勉強会

日 時	内 容	講 師	参加人数
4月28日	リオナ錠250mg勉強会	鳥居薬品株式会社	19名
5月26日	アプルウェイ勉強会	サノフィ株式会社	16名
6月30日	アコファイド勉強会	アステラス製薬株式会社	18名
7月28日	プレセックス注 勉強会	丸石製薬株式会社	21名
8月25日	レベルア勉強会	グラクソ・スミスクライン株式会社	17名
9月29日	ゾシン勉強会	大正富山医薬品株式会社	17名
10月27日	クレストール錠 勉強会	塩野義製薬株式会社	15名
11月17日	クレナフィン勉強会	株式会社アステム	12名
1月26日	ニコペリック株式会社	テルモ株式会社	15名
2月23日	パレプラス輸液・カーポスター勉強会	株式会社陽進堂	12名
3月23日	ザクラス・タケキャブ	武田薬品工業株式会社	13名

## (9) その他の研修

日 時	テーマ	講 師	主 催	参加人数
6月24日	職場のメンタルヘルスケア	特定社会保険労務士 領家 節子 先生	安全衛生 委員会	64名
8月26日	二相式気道陽圧ユニット勉強会	TEIJIN	臨床工学科	18名
9月9日	LDLアフェレーシス勉強会	カネカメディックス	臨床工学科	25名
10月16日	カフアシスト（排痰補助装置）勉強会	フィリップス	看護部	13名
11月10・11日	シリンジポンプ取扱いについて	フィリップス	看護部	42名

## (10) 職員講座

日 時	内 容	講 師
5月1日	大人のラジオ体操	スポーツインストラクター 吉留 早木子 先生
11月13日	個性心理学でコミュニケーション力をつける	佐藤 裕幸 先生

(11) 説明会

日時	テーマ	講師
11月17・18日	日本透析医学会での発表について	臨床工学科 鎌田・情家 透析室 坂元
12月15・16日	院内研究発表について	教育師長 三原
3月23・24日	フットケアについて —日本フットケア学会鹿児島セミナー参加報告—	クリニック 川迫・宮崎

## 8 1年間の主な出来事

- 3月29～30日 霧島山荘 新人研修
- 4月1日 開院記念式
- 4月1～2日 新入職員研修
- 4月25日 日本透析医会理事会
- 5月18日 第8回健康まつり
- 5月25日 NPO法人鹿児島腎臓病協会通常総会
- 6月12日 理事長講話
- 6月13～15日 日本透析医学会
- 6月26日 鹿児島県透析医会総会・学術講演会
- 7月26日 九州CAPD検討会
- 8月16日 ターザン会
- 8月23日 維持透析患者の補完・代替医療研究会 九州支部会
- 8月31日 日本統合医療学会鹿児島支部会
- 9月1日 日本透析医会災害時情報伝達訓練
- 9月25日 第13回院内研究発表会
- 9月25日 鹿児島県透析医会学術講演会
- 10月21日 第2回理事長杯ボウリング大会
- 10月26日 腎臓移植街頭キャンペーン
- 11月30日 第46回 九州人工透析研究会
- 12月20日 腎愛会・ユーエスケイ企画忘年会
- 1月5日 年始式
- 2月17日 葉月会(職員互助会)総会
- 2月19日 鹿児島県透析医会学術講演会
- 3月23日 労使協議会
- 3月31日 期末実地棚卸
- 4月5日 USリーナル会(ゴルフ)



開院記念式



年始式

## 9 医療機器

CT



超音波断層装置



透析監視装置



### 【その他】

電気ス

手術台

患者監視装置ベッドサイドモニター  
セントラルモニター

パルスオキシメータ

聴力計オーディオメータ

マイクロスコープライザー

長時間用心電用データーレコーダ

顕微鏡

心電計

血圧脈波検査装置

超音波診断装置

(腹部・心臓・頸部・血管)

吸引機

自動血球計数測定装置

生化学自動分析装置

エンドトキシン測定装置

純水装置 (カルガノピュアライト)

電解質分析装置

逆浸透水处理装置

多人数用透析液供給装置

多人数用透析監視装置

個人用透析装置

個人用逆浸透水处理装置

自動溶解装置

透析液クリーン化ユニット

浸透圧分析装置

血圧監視装置

患者監視装置

滅菌パックスー

高圧蒸気滅菌器サボクレーブ

ガス滅菌器ケスキレーブ

超音波式ネブライザー  
除細動器

AED

錠剤自動供給装置

X線一般撮影装置

X線CT装置

CR装置

電子ポケット線量計

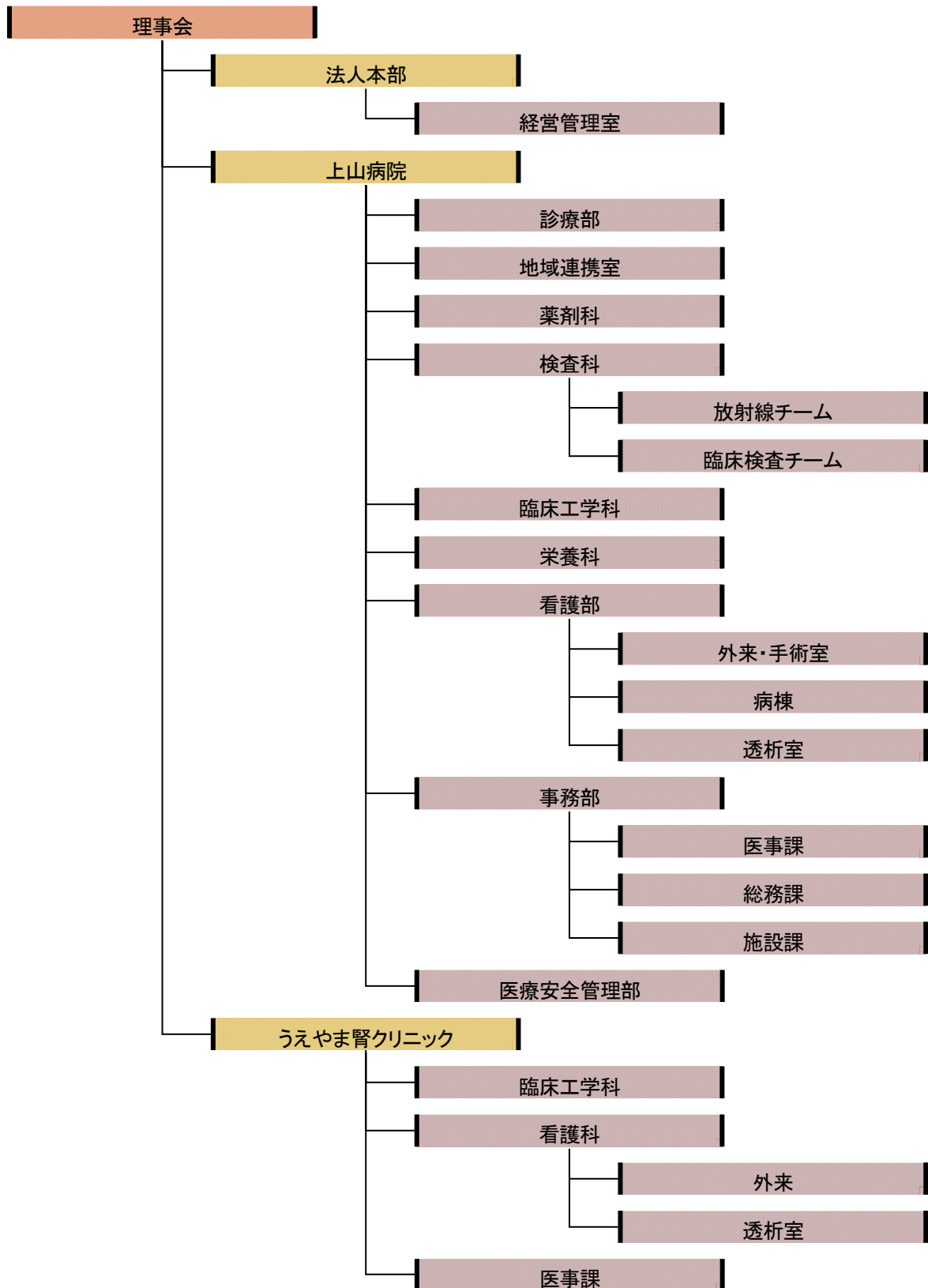
X線テレビ装置

凝固測定用経過時間タイマー

外科用C7ーム

# 10 組織図

平成 25 年 4 月 1 日改正



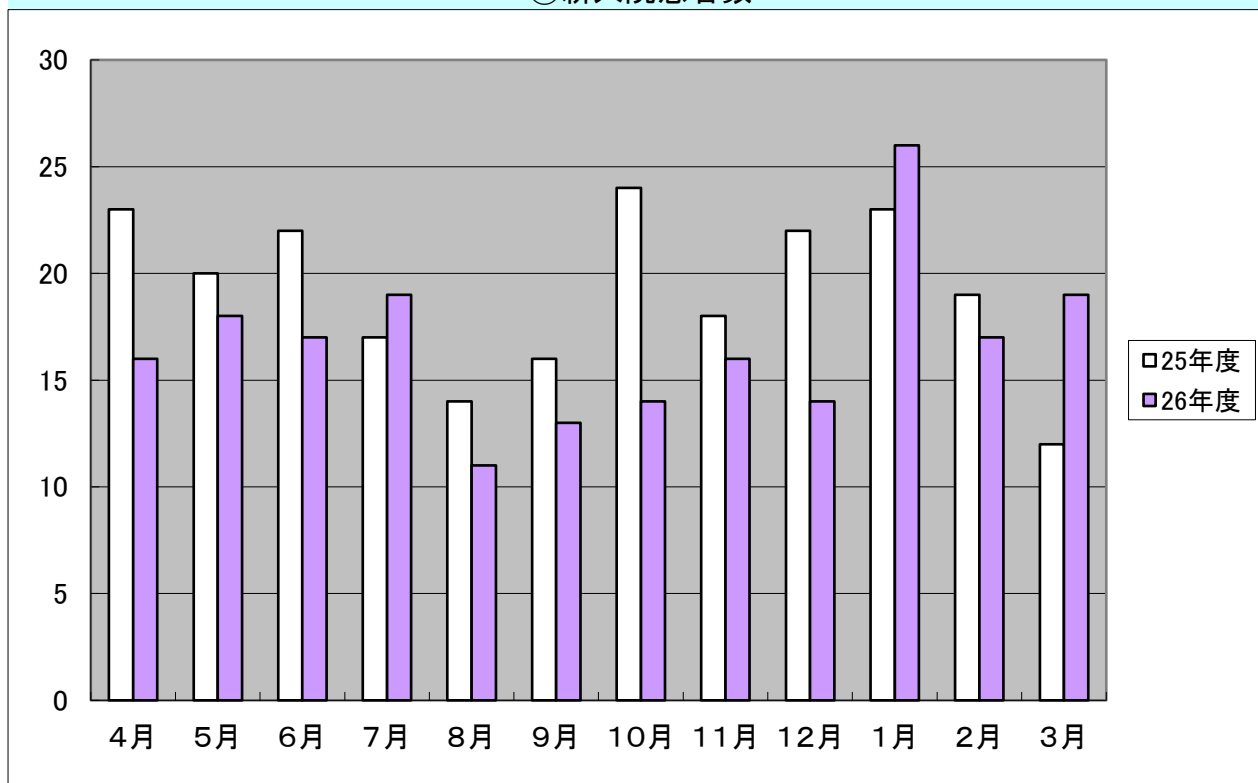
## 11 委員会活動

名称	内 訳	開催頻度	人数	委員会の活動内容
医療安全管理委員会		年 2 回	7 名	医療安全管理のための統括調整機能を果たす委員会。 医療安全管理のための組織に包括される各委員会の代表者と医療安全管理者から構成される。
第 1 委員会	医療安全	月 1 回	23 名	ヒヤリハット報告書の収集分析等を通して、医療事故の防止、安全かつ適切な医療の供給体制の確立を目的として活動する。
	医療事故		23 名	医療事故・医事紛争の予防対策の検討や医療事故発生時の原因究明・改善策の提案など、医事紛争を解決するための活動を行う。
	倫 理		8 名	倫理的諸問題を解決するための活動を行う。
第 2 委員会	感染対策	月 1 回	25 名	院内感染の予防対策や知識の啓蒙を図り、感染の発生防止体制の確立を目的として活動する。
	安全衛生管理			職場の安全管理や職員の衛生管理を行う。
第 3 委員会	教 育	月 1 回	18 名	職員に対する院内教育についての企画・総括・調整を行います。また、年に1回、院内研究発表会を開催する。
	広 報			院内外へのPRを目的に、腎愛会ニュース(新聞)を作成、掲示する。ホームページに関する企画・編集を行う。
第 4 委員会	診療録管理	隔月 1 回	13 名	診療録の管理及び活用について、保管・閲覧・紛失防止など診療録の適正な管理を行う。
	個人情報保護対策			個人情報保護法に関する啓蒙を行うと同時に、保有する個人情報の安全管理を行い、開示・訂正等の請求を受けた場合の対応を行う。
第 5 委員会	医療ガス安全管理	隔月 1 回	11 名	医療用ガス及びその供給設備についての安全管理を行う。
	輸血療法委員会			血液製剤の安全供給かつ適切な使用の実践が行われるための活動を行う。
	検査管理			外部精度管理の結果に関する詳細検討や感染情報レポートの作成、活用、検査手順・方法・機器に関する見直し検討を行う。

第6委員会	褥瘡対策	月1回	15名	入院患者様の褥瘡発生を防止し、発生した場合に適切な治療を行うための活動を行う。
	給食			給食業務に関する連絡調整を行うと同時に、おいしい食事提供のために検食を行い、栄養士に意見を伝え、改善に努めることを目的とする。
第7委員会	接遇マナー	月1回	18名	外部講師による指導も受けながら、接遇向上のための活動を行う。委員は、学んだことを職場に持ち帰って、職員に実践してもらおう役目を担う。
	ECO			省エネのための様々な取り組みを通して、「地球にやさしい」環境づくりを目指すとともに、水道光熱費の削減やゴミの減量等に取り組む。
第8委員会	薬事委員会	月1回	11名	医薬品の適正使用及び管理や新規医薬品の採用の決定を行う。
第9委員会	透析機器安全管理	月1回	11名	透析液の水質管理を行い、安全な透析を行うための活動を行う。
第10委員会	購買	随時	5名	適切な法人経営に資するよう、50万円以上の資産等購入にあたり、必要性や質・価格の妥当性について審査する。

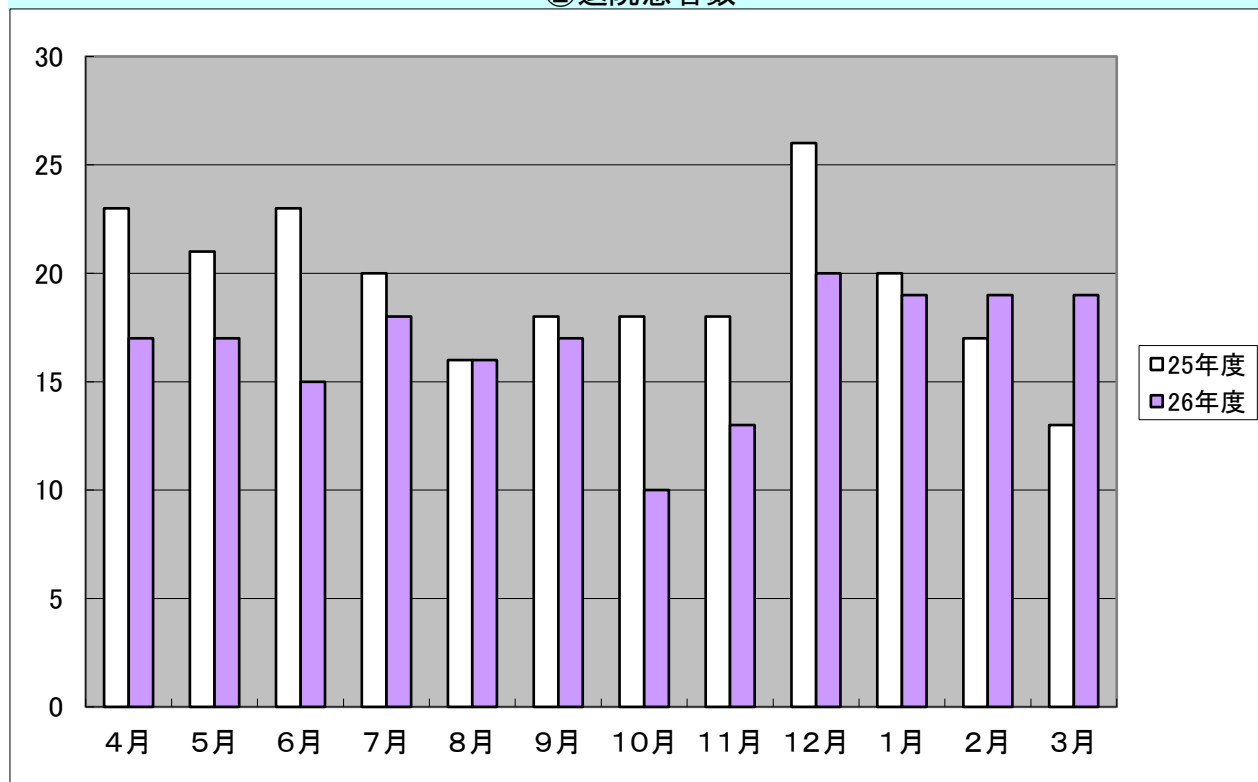
## 12 統計 (1)患者データ【上山病院】

### ①新入院患者数



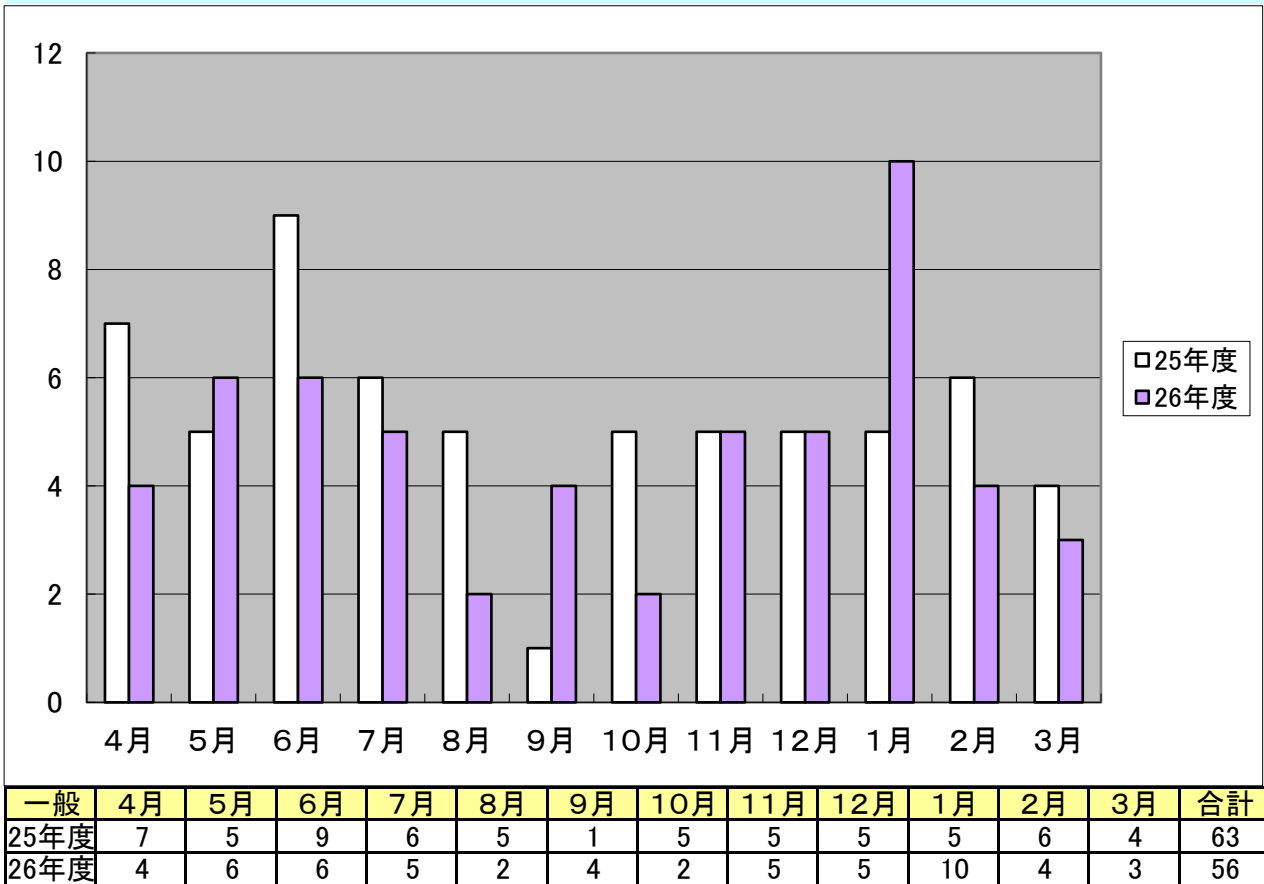
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
25年度	23	20	22	17	14	16	24	18	22	23	19	12	230
26年度	16	18	17	19	11	13	14	16	14	26	17	19	200

### ②退院患者数

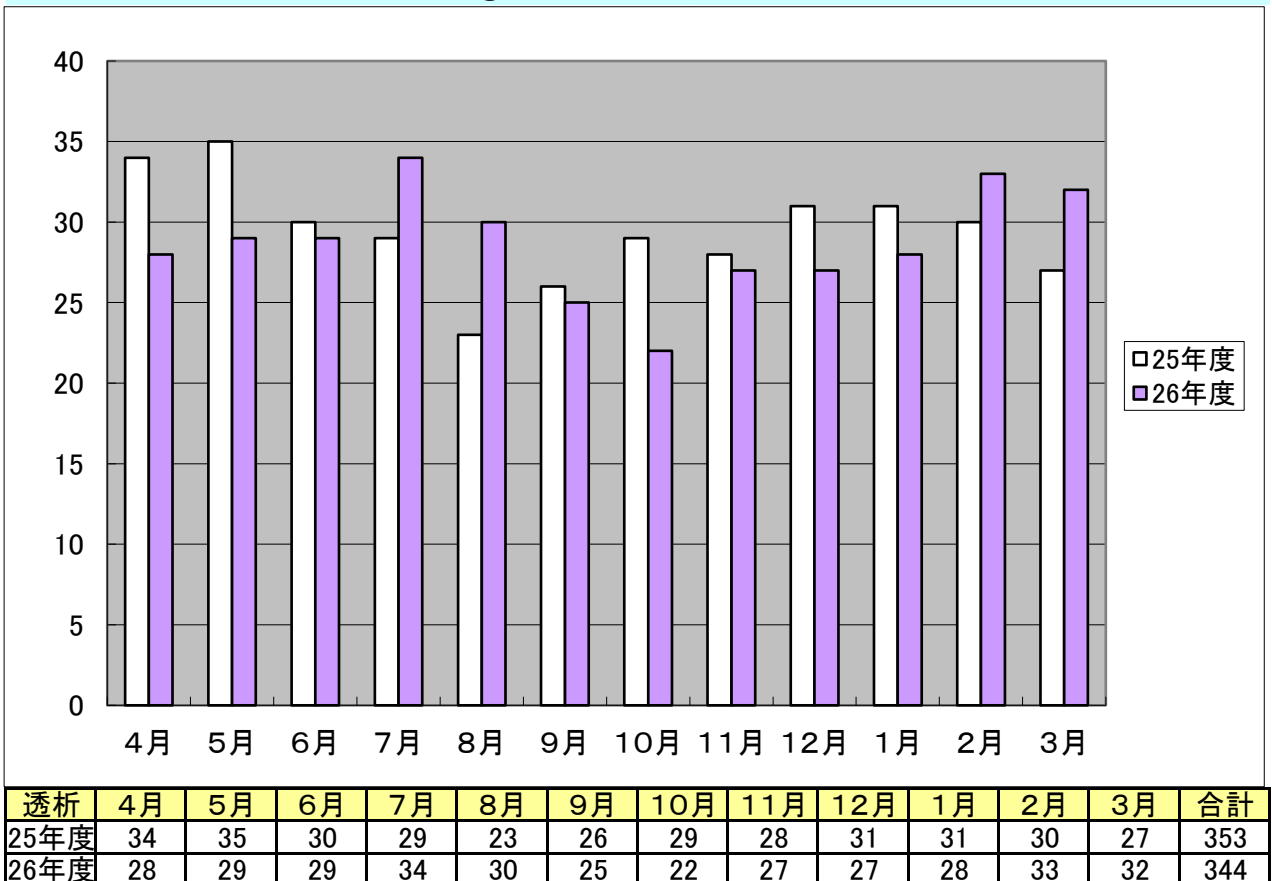


	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
25年度	23	21	23	20	16	18	18	18	26	20	17	13	233
26年度	17	17	15	18	16	17	10	13	20	19	19	19	200

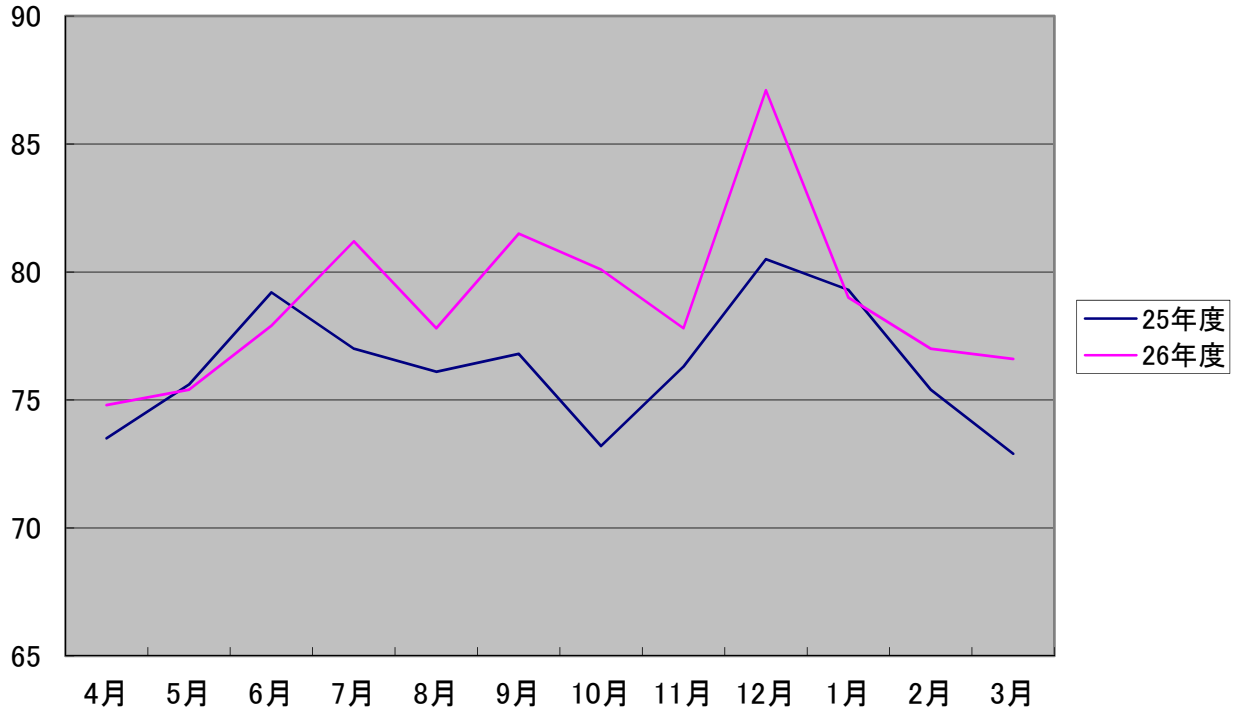
③ 入院患者件数(一般)



④ 入院患者件数(透析)

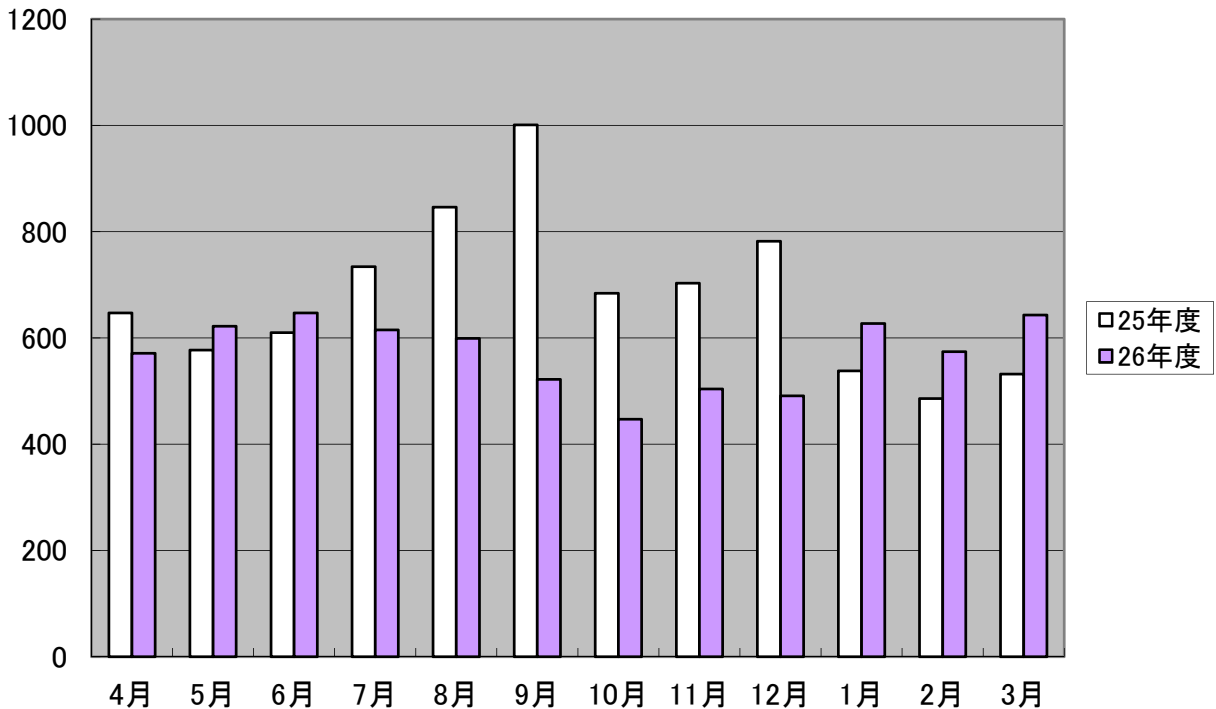


⑤入院患者平均年齢



	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
25年度	73.5	75.6	79.2	77	76.1	76.8	73.2	76.3	80.5	79.3	75.4	72.9	76.3
26年度	74.8	75.4	77.9	81.2	77.8	81.5	80.1	77.8	87.1	79	77	76.6	78.9

⑥入院日数



	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
25年度	647	577	610	734	846	1001	684	703	782	538	486	532	678.3
26年度	571	622	647	615	599	522	447	504	491	627	574	643	571.8

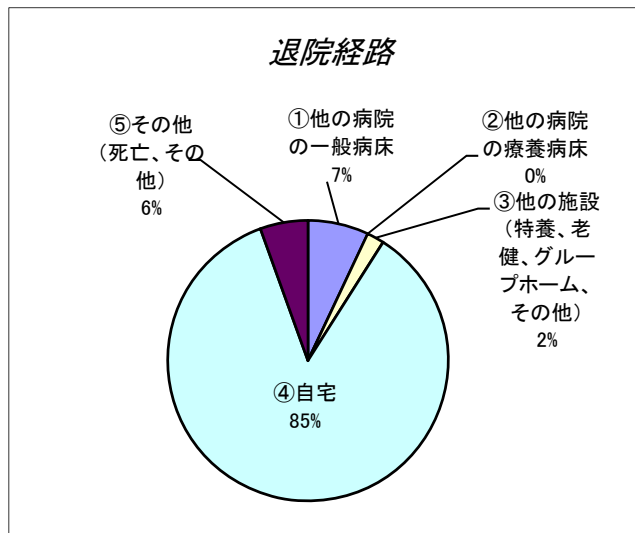
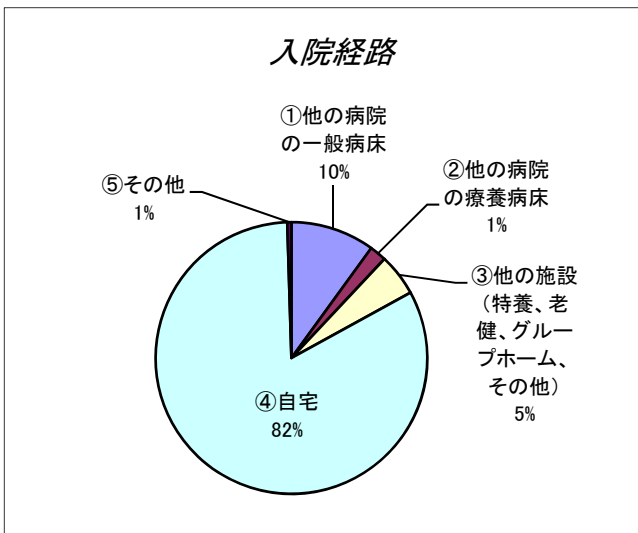
⑦入・退院患者経路

1. 入院経路（入院前の居場所）

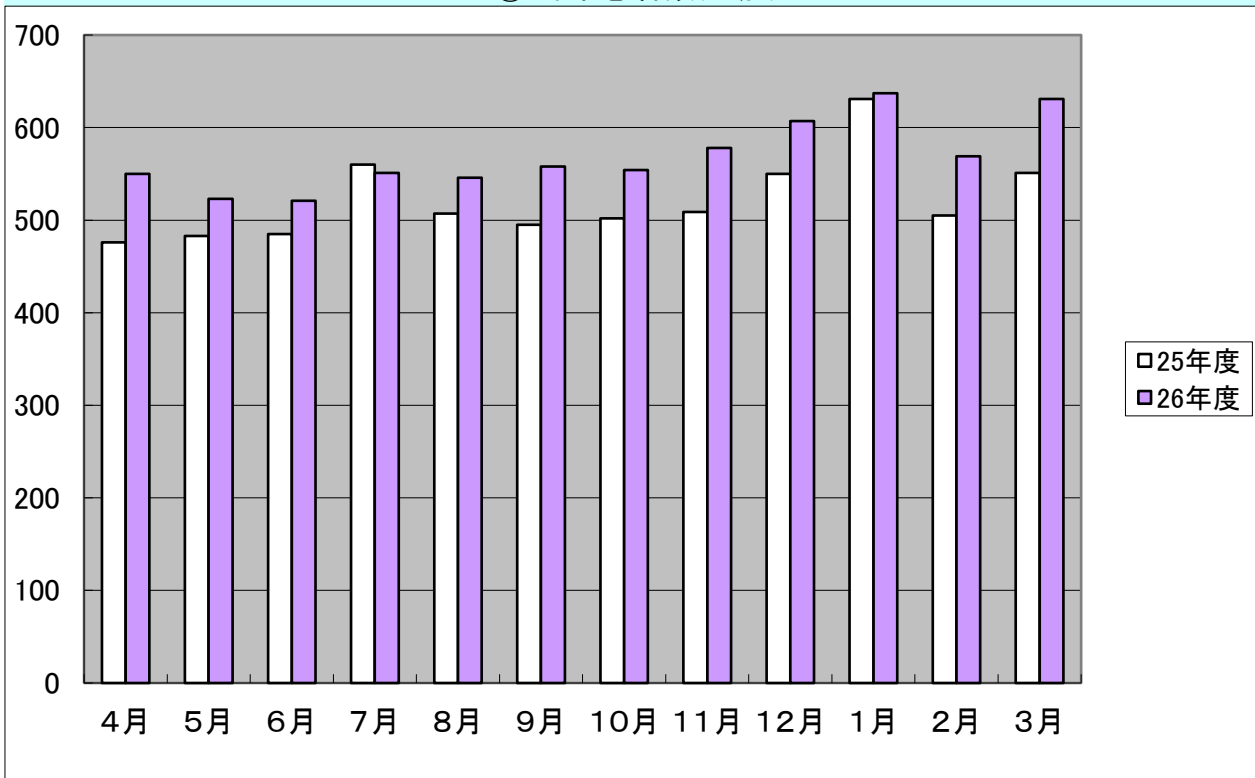
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
①他の病院の一般病床	3	3	2		1	1	2	1	1	3	3		20
②他の病院の療養病床	1	2					1						4
③他の施設 (特養、老健、グループホーム、その他)		2		3				1			2	2	10
④自宅	12	11	15	16	10	12	10	14	13	23	12	17	165
⑤その他							1						1
<b>合 計</b>	<b>16</b>	<b>18</b>	<b>17</b>	<b>19</b>	<b>11</b>	<b>13</b>	<b>14</b>	<b>16</b>	<b>14</b>	<b>26</b>	<b>17</b>	<b>19</b>	<b>200</b>

2. 退院経路（退院後の行き先）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
①他の病院の一般病床	1		4	1		2	1		2	1	1	1	14
②他の病院の療養病床													0
③他の施設 (特養、老健、グループホーム、その他)									2		1	1	4
④自宅	15	16	11	16	16	14	8	12	13	16	17	17	171
⑤その他（死亡、その他）	1	1		1		1	1	1	3	2			11
<b>合 計</b>	<b>17</b>	<b>17</b>	<b>15</b>	<b>18</b>	<b>16</b>	<b>17</b>	<b>10</b>	<b>13</b>	<b>20</b>	<b>19</b>	<b>19</b>	<b>19</b>	<b>200</b>

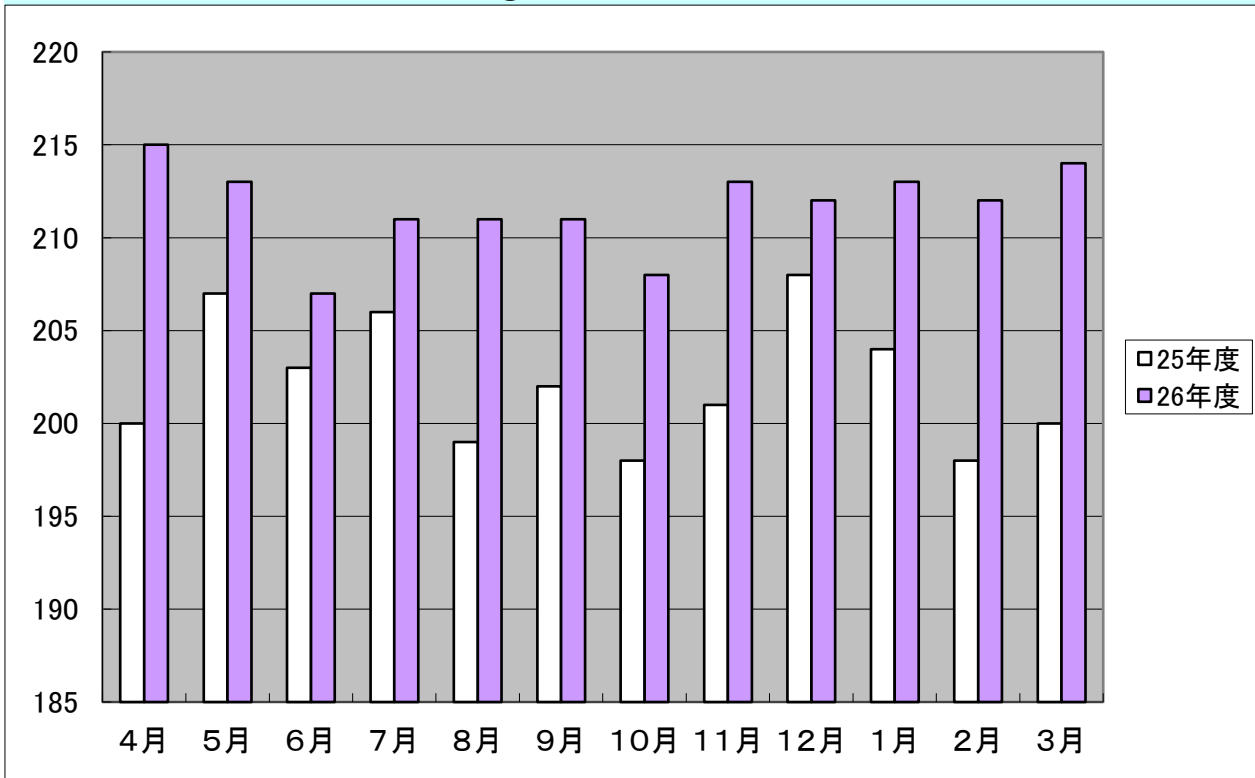


⑧ 外来患者数(一般)



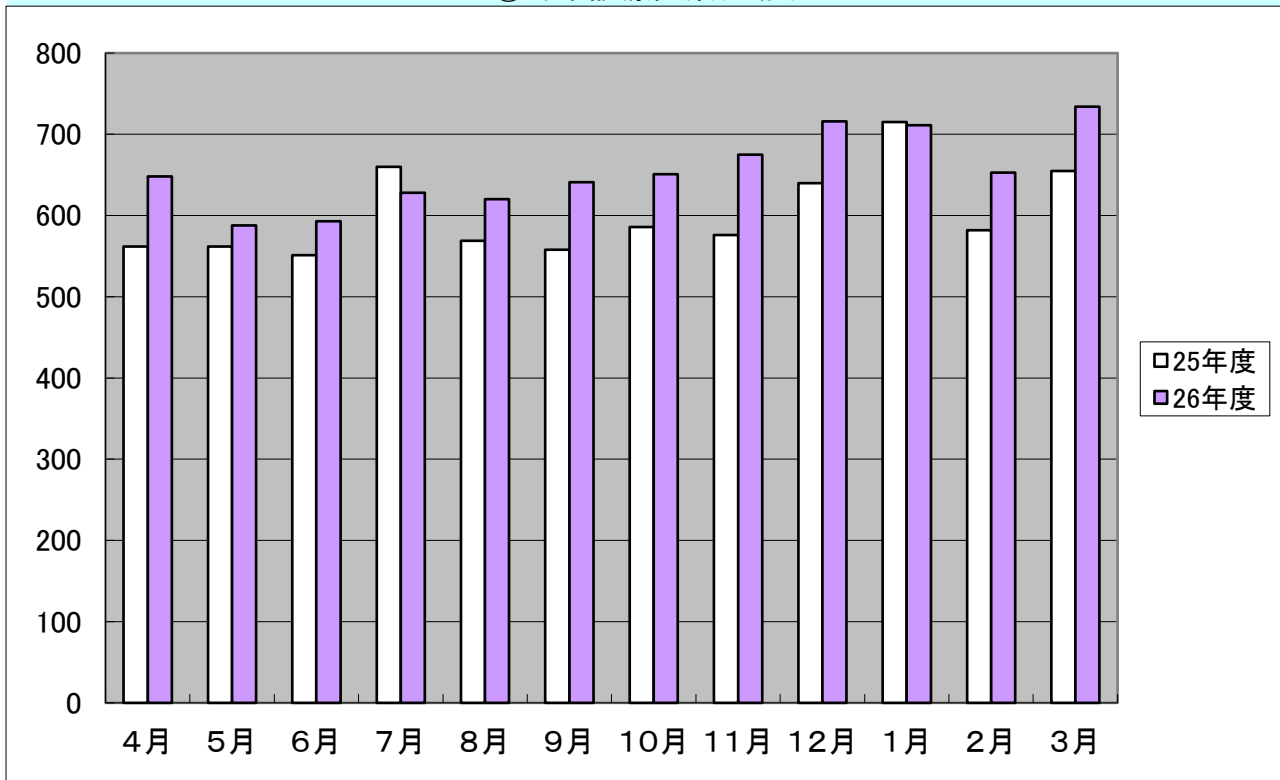
一般	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
25年度	476	483	485	560	507	495	502	509	550	631	505	551	6,254
26年度	550	523	521	551	546	558	554	578	607	637	569	631	6,825

⑨ 外来患者数(透析)



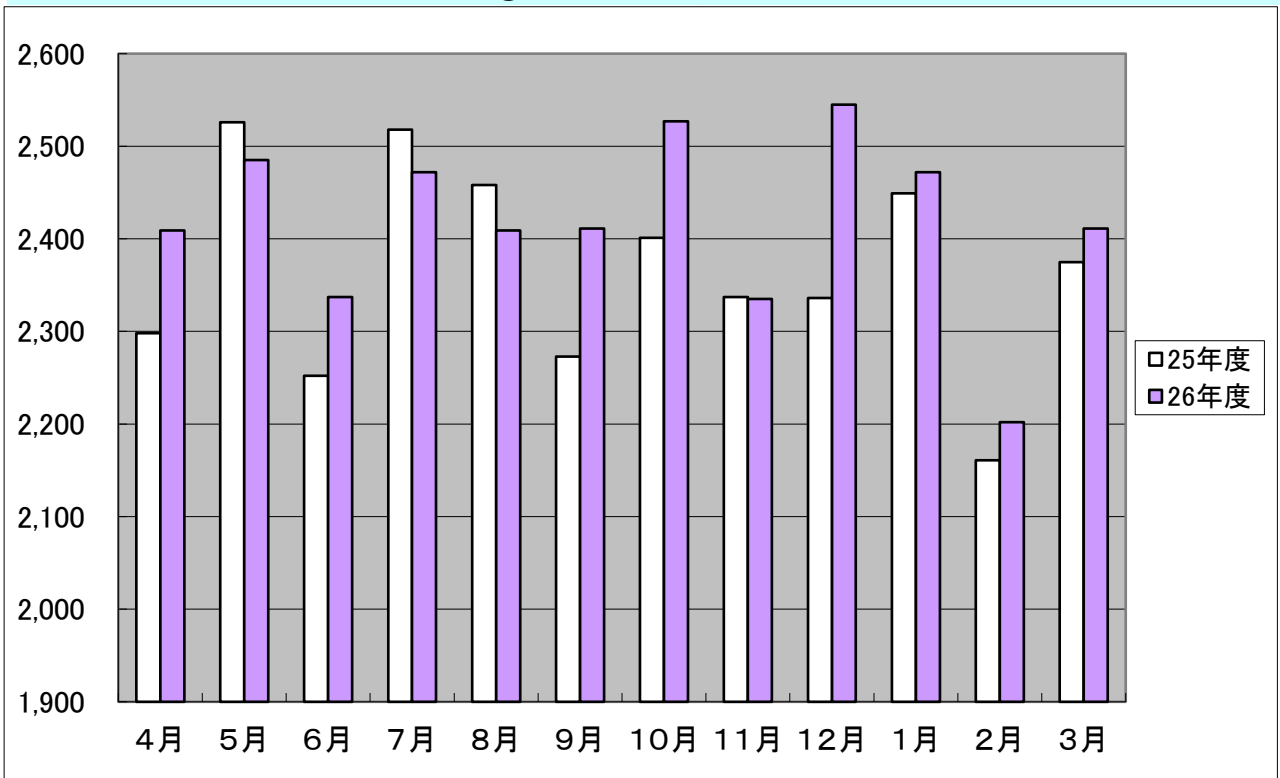
透析	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
25年度	200	207	203	206	199	202	198	201	208	204	198	200	2,426
26年度	215	213	207	211	211	211	208	213	212	213	212	214	2,540

⑩外来診療回数(一般)



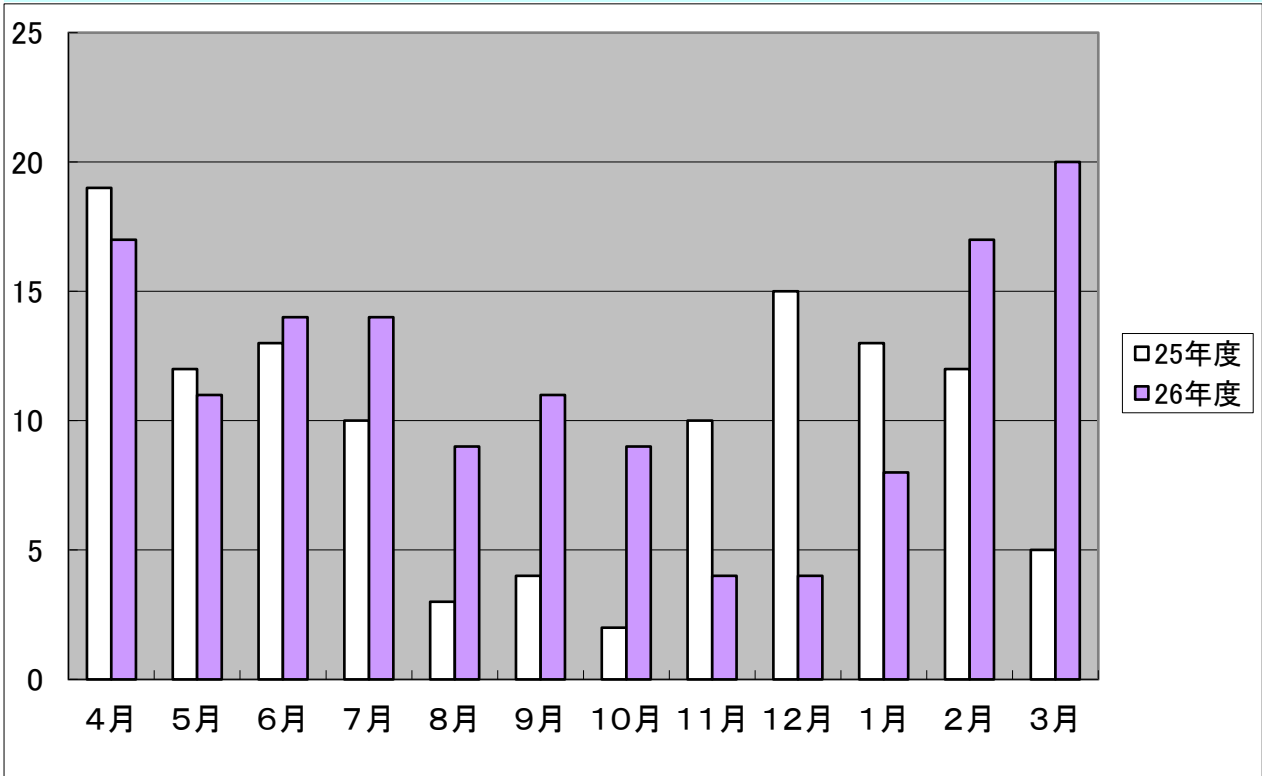
一般	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
25年度	562	562	551	660	569	558	586	576	640	715	582	655	7,216
26年度	648	588	593	628	620	641	651	675	716	711	653	734	7,858

⑪外来診療回数(透析)



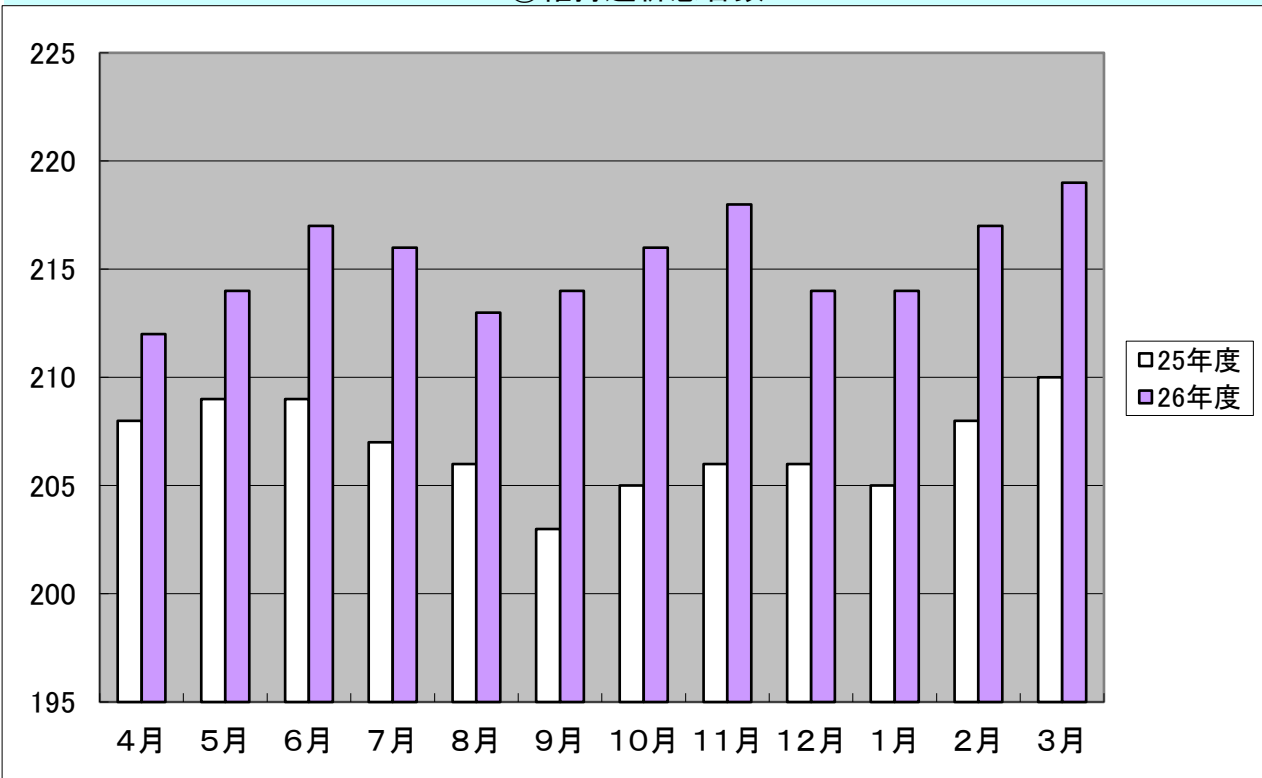
透析	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
25年度	2,298	2,526	2,252	2,518	2,458	2,273	2,401	2,337	2,336	2,449	2,161	2,375	28,384
26年度	2,409	2,485	2,337	2,472	2,409	2,411	2,527	2,335	2,545	2,472	2,202	2,411	29,015

⑫ 紹介受け入れ患者数



	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
25年度	19	12	13	10	3	4	2	10	15	13	12	5	118
26年度	17	11	14	14	9	11	9	4	4	8	17	20	138

⑬ 維持透析患者数



	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
25年度	208	209	209	207	206	203	205	206	206	205	208	210	2,482
26年度	212	214	217	216	213	214	216	218	214	214	217	219	2,584

## ⑭ 禁煙外来

	平成25年度	平成26年度
新規受診者数	11	10
うち成功者数	4	5

※これまでの総数107名受診中39名成功

## ⑮ 健診件数

平成26年度	特定健診		学童腎検	労災二次健診	職場健診
	国保	社保			
4月	2	1			2
5月	5	4	6		15
6月	9		1		15
7月	8	1	1		6
8月	4	2	2		3
9月	3	1		1	15
10月	7	1			16
11月	2	2		2	10
12月	5	4		1	2
1月	4				4
2月	11				10
3月	9				19
小計	69	16			
合計	85		10	4	117

## ⑩ 臨床検査データ

## 平成26年度検体数

項目/外・入	外来	入院	検診	合計
T-Bil	58	11	1	70
AST	3396	253	381	4030
ALT	3371	253	381	4005
ALP	2831	226	272	3329
GGT	2898	231	381	3510
LDH	2613	243	271	3127
TG	3019	218	380	3617
HDL	3016	217	380	3613
LDL	3012	215	380	3607
BUN	6065	519	3	6587
CRE	6071	531	215	6817
UA	6005	487	40	6532
Na	5837	506	1	6344
K	5930	538	1	6469
Cl	5837	505	2	6344
Ca	5540	483	0	6023
IP	5587	482	0	6069
Fe	2224	199	0	2423
TP	3657	231	272	4160
ALB	3348	263	1	3612
A/G	3109	230	1	3340
BS	1041	37	381	1459
HbA1c	654	8	56	718
GA	821	89	1	911
フェリチン	697	75	0	772
血液一般	7304	650	337	8291
WBC分類	46	11	24	81
CRP	320	257	3	580
PET検査	32	7	0	39
合計	94339	7975	4165	106479

部位/件数	2014.4～2015.3	合計
血管	1015	1015
頸部	136	136

部位/件数	2014.4～2015.3	合計
交差試験	28	28
抗体スクリーニング	28	28
血液型	56	56

## ⑰ 撮影データ

撮影件数（H26年度）

	C T	上山病院			うえやま腎クリニック			合計
		定期胸部	一般	アンギオ・PTA	定期胸部	一般	アンギオ・PTA	
4月	29	196	207	14	71	18	0	535
5月	36	210	77	11	75	32	0	441
6月	38	213	67	10	71	0	0	399
7月	38	222	54	8	73	4	0	399
8月	41	218	48	13	73	1	0	394
9月	28	213	58	18	74	8	0	399
10月	42	219	102	7	76	5	0	451
11月	23	198	55	15	75	0	0	366
12月	25	215	48	16	75	0	0	379
1月	27	219	48	14	73	1	0	382
2月	25	210	71	7	74	1	0	388
3月	28	217	84	11	74	12	0	426
合計	380	2550	919	144	884	82	0	4959

C T 撮影部位別件数（H26年度）

頭部C T	55
胸部C T	118
腹部C T	249
頸部C T	2
下肢C T	0
合計	424

単純C T	346
造影C T	37

読影件数（H26年度）

	件数	読影回数
4月	33	4
5月	42	5
6月	35	4
7月	35	4
8月	47	5
9月	26	4
10月	45	5
11月	23	4
12月	25	4
1月	27	4
2月	25	4
3月	25	4
合計	388	51

⑩上山病院 臨床工学科データ

平成26年度 上山病院生菌検査結果一覧表

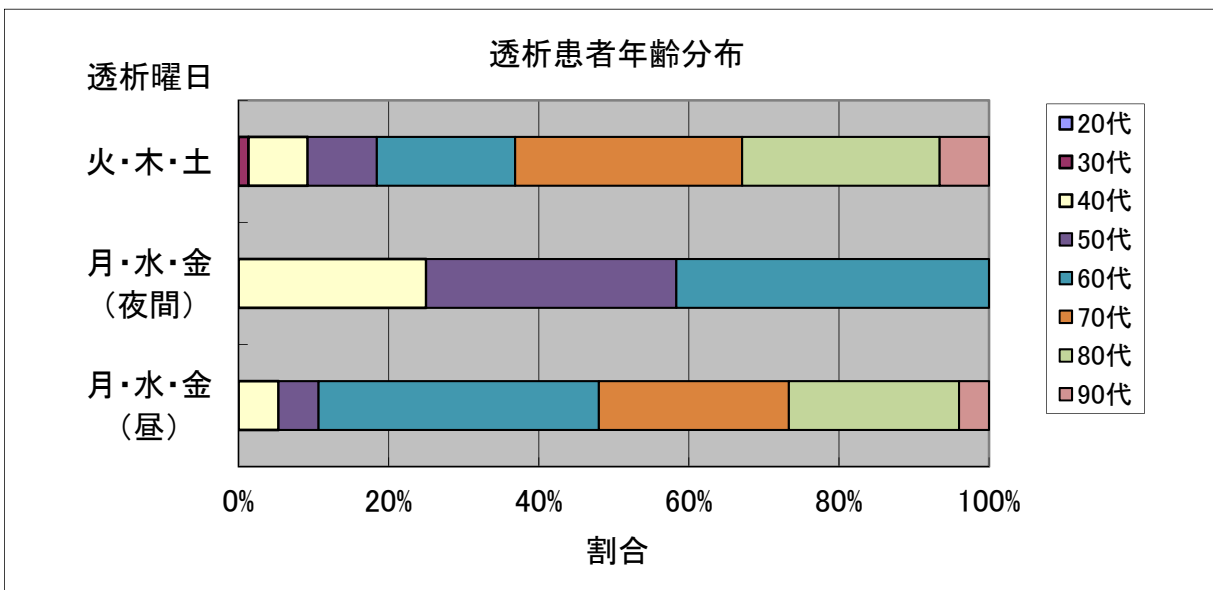
測定場所			測定日	検査結果 (CFU/mL)	管理基準 (CFU/mL)	備考
項目	配管および装置名					
水道水	原水	MIZ754QC-H(原水)	10月6日	5.4	-	
前処理水	軟水	MIZ754QC-H(軟水)		6.2	-	
処理水	処理水	MIZ754QC-H(RO膜直後)		20.0	100 未満	
	処理水送液ライン	UF①: RO配管(1系統)	10月20日	0.00		
		UF②: RO配管(2系統)		0.00		
2F透析原液 (1系統)	A剤自動溶解装置(1系統)	DRY-11A	5月18日	0.82		
	B剤自動溶解装置(1系統)	DRY-01		0.12		
2F供給装置 後透析液 1系統	モルセップ(1-①系統)	ET-5E	8月11日	0.00		
	モルセップ(1-②系統)	ET-5E		0.00		
2F透析原液 (2系統)	A剤自動溶解装置(2系統)	DRY-11A	9月22日	0.00		
	B剤自動溶解装置(2系統)	DRY-01	9月1日	0.78		
2F供給装置 後透析液 2系統	モルセップ(2-①系統)	ET-5E	9月8日	0.00		
	モルセップ(2-②系統)	ET-5E		0.00		
2F 透析 監視 装置 (カ プ ラ 後 透 析 液)	コンソール No.60	DCS-27	1月5日	0.00	1未満	
	コンソール No.9	DCS-27	1月5日	0.00		
	コンソール No.10	DCS-27	1月5日	0.00		
	コンソール No.40	DCS-27	1月5日	0.00		
	コンソール No.58	DCS-27	1月19日	0.00		
	コンソール No.61	DCS-27	1月19日	0.00		
	コンソール No.70	DCS-100NX	1月19日	0.00		
	コンソール No.71	DCS-100NX	2月2日	0.00		
	コンソール No.72	DCS-100NX	2月2日	0.00		
	コンソール No.73	DCS-100NX	2月2日	0.00		
	コンソール No.74	DCS-100NX	2月2日	0.00		
	コンソール No.28	DCS-27	2月16日	0.00		
	コンソール No.14	DCS-27	2月16日	0.00		
	コンソール No.15	DCS-27	2月16日	0.00		
	コンソール No.16	DCS-27	2月16日	0.00		
	コンソール No.17	DCS-27	3月3日	0.00		
	コンソール No.63	DCS-27	3月3日	0.00		
	コンソール No.57	DCS-27	3月3日	0.00		
	コンソール No.20	DCS-27	3月3日	0.00		
	コンソール No.21	DCS-27	3月16日	0.00		
	コンソール No.22	DCS-27	3月16日	0.00		
	コンソール No.23	DCS-27	3月16日	0.00		
	コンソール No.64	DCS-27	3月16日	0.00		
	コンソール No.11	DCS-27	6月24日	0.00		
	コンソール No.26	DCS-27	6月30日	0.00		
	コンソール No.27	DCS-27	6月30日	0.00		
	コンソール No.62	DCS-27	6月30日	0.00		
	コンソール No.29	DCS-27	7月7日	0.00		
	コンソール No.75	DCS-100NX	7月7日	0.00		
	コンソール No.131	DCS-100NX	1月5日	0.00		
	コンソール No.132	DCS-100NX	7月14日	0.00		
	コンソール No.133	DCS-100NX	7月14日	0.00		
	コンソール No.134	DCS-100NX	7月27日	0.00		
	コンソール No.135	DCS-100NX	1月5日	0.00		
	コンソール No.136	DCS-100NX	7月27日	0.00		
	コンソール No.137	DCS-100NX	9月22日	0.00		
	コンソール No.138	DCS-100NX	9月22日	0.00		
	コンソール No.139	DCS-100NX	9月22日	0.00		
	コンソール No.140	DCS-100NX	9月29日	0.00		
	コンソール No.141	DCS-100NX	9月29日	0.00		
	コンソール No.142	DCS-100NX	9月29日	0.00		
	コンソール No.143	DCS-100NX	11月10日	0.00		
	コンソール No.144	DCS-100NX	11月10日	0.00		

平成26年度 上山病院生菌検査結果一覧表

項目	測定場所		測定日	検査結果 (CFU/mL)	管理基準 (CFU/mL)	備考
	配管および装置名					
2F 透析監視装置 (カプラ後透析液)	コンソール No.145	TR-3300M	6月3日	0.00	1未満	
	コンソール No.146	TR-3300M		0.00		
	コンソール No.147	TR-3300M		0.00		
	コンソール No.148	TR-3300M		0.00		
	コンソール No.149	TR-3300M		0.00		
	コンソール No.150	TR-3300M	6月4日	0.00		
	コンソール No.151	TR-3300M		0.00		
	コンソール No.152	TR-3300M		0.00		
	コンソール No.153	TR-3300M		0.00		
	コンソール No.154	TR-3300M	11月27日	0.00		
	コンソール No.55	DCS-27		0.00		
	コンソール No.56	DCS-27		0.00		
	コンソール No.31	DCS-27		0.00		
	コンソール No.32	DCS-27		0.00		
	コンソール No.59	DCS-27		0.00		
	コンソール No.34	DCS-27		0.00		
	コンソール No.35	DCS-27		0.00		
	コンソール No.36	DCS-27	11月21日	0.00		
	コンソール No.37	DCS-27		0.00		
	コンソール No.38	DCS-27		0.00		
	コンソール No.65	DCS-27		0.00		
	コンソール No.66	DCS-27	12月1日	0.00		
	コンソール No.67	DCS-27		0.00		
	コンソール No.68	DCS-27		0.00		
コンソール No.69	DCS-27	0.00				
コンソール No.39	DCS-27	12月1日	0.00			
コンソール No.33	DCS-27		0.00			
コンソール No.41	DCS-27		0.00			
コンソール No.42	DCS-27		0.00			
コンソール No.43	DCS-27		0.00			
コンソール No.44	DCS-27		0.00			
処理水	UF③: RO配管(3系統)		10月20日	0.04	100未満	
3F 透析原液	タンクA			0.00	1未満	
3F供給装置 後透析液	B剤自動溶解装置	BFI-JP		0.00		
	モルセップ3	ET-3E	12月8日	0.00		
3F 透析監視装置 (カプラ後透析液)	コンソール No.77	DCS-26	12月15日	0.00		
	コンソール No.78	DCS-26		0.00		
	コンソール No.79	DCS-26		0.00		
	コンソール No.80	DCS-26		0.00		
	コンソール No.81	DCS-26		0.00		
	コンソール No.82	DCS-26	0.00			
	コンソール No.83	DCS-26	0.00			
	コンソール No.103	DCS-26	0.00			
	コンソール No.97	DCS-26	7月31日	0.00		
	コンソール No.105	DCS-26	12月15日	0.00		
	コンソール No.102	DCS-26	7月31日	0.00		
	コンソール No.101	DCS-26	7月31日	0.00		
	コンソール No.3(個人用)	DBB-26	12月22日	0.00		
	コンソール No.100	DCS-26	7月31日	0.00		
コンソール No.99	DCS-26	7月31日	0.00			
コンソール No.98	DCS-26	7月31日	0.00			
コンソール No.85	DCS-26		0.00			
個人用水処理水	MX500CX(RO膜直後)		12月22日	0.9	100未満	
コンソール No.9(個人用)	DBB-26			0.00	1未満	

⑱ 透析患者年齢分布（平成27年3月末現在） ※3階透析室も含む

	月・水・金 (昼)	月・水・金 (夜間)	火・木・土
20代	0	0	0
30代	0	0	1
40代	4	12	6
50代	4	16	7
60代	28	20	14
70代	19	0	23
80代	17	0	20
90代	3	0	5
合計	75	48	76



⑳ 給食状況 (H26年度)

ア 患者給食数

(単位：食、%)

項目		延給食数	一日平均給食数	職種別構成比	延給食数 対前年度比
一般食	常食	792	2.2	4.0	463.2
	流動食	0	0	0	0
特別食	腎臓疾患	17,788	48.7	89.7	107.6
	心臓疾患	96	0.3	0.5	218.2
	糖尿病	63	0.2	0.3	175.0
	経管栄養	1,099	3.0	5.5	52.4
合計		19,838	54.4	100	105.1

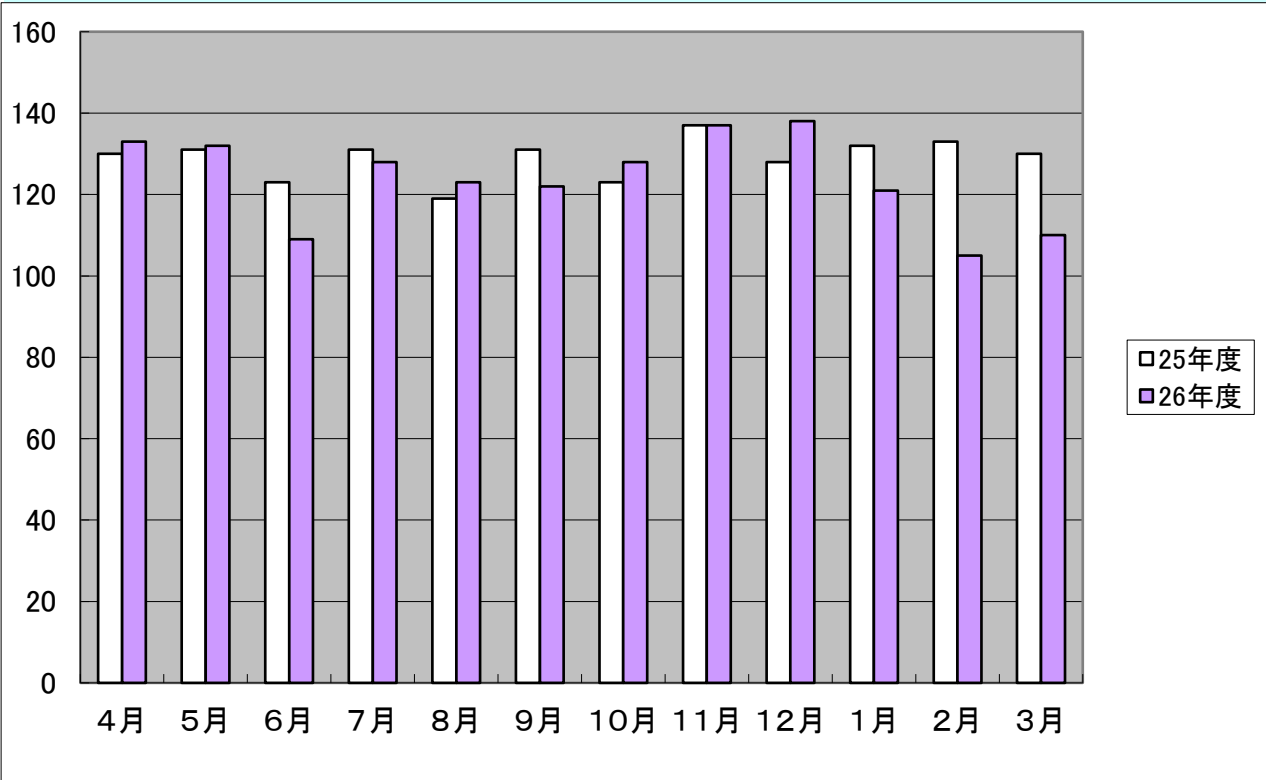
イ 個人栄養指導件数

(単位：件、%)

区分	項目	件数	対前年度比
外来患者		168	168.0
入院患者		59	122.9
合計		227	153.4

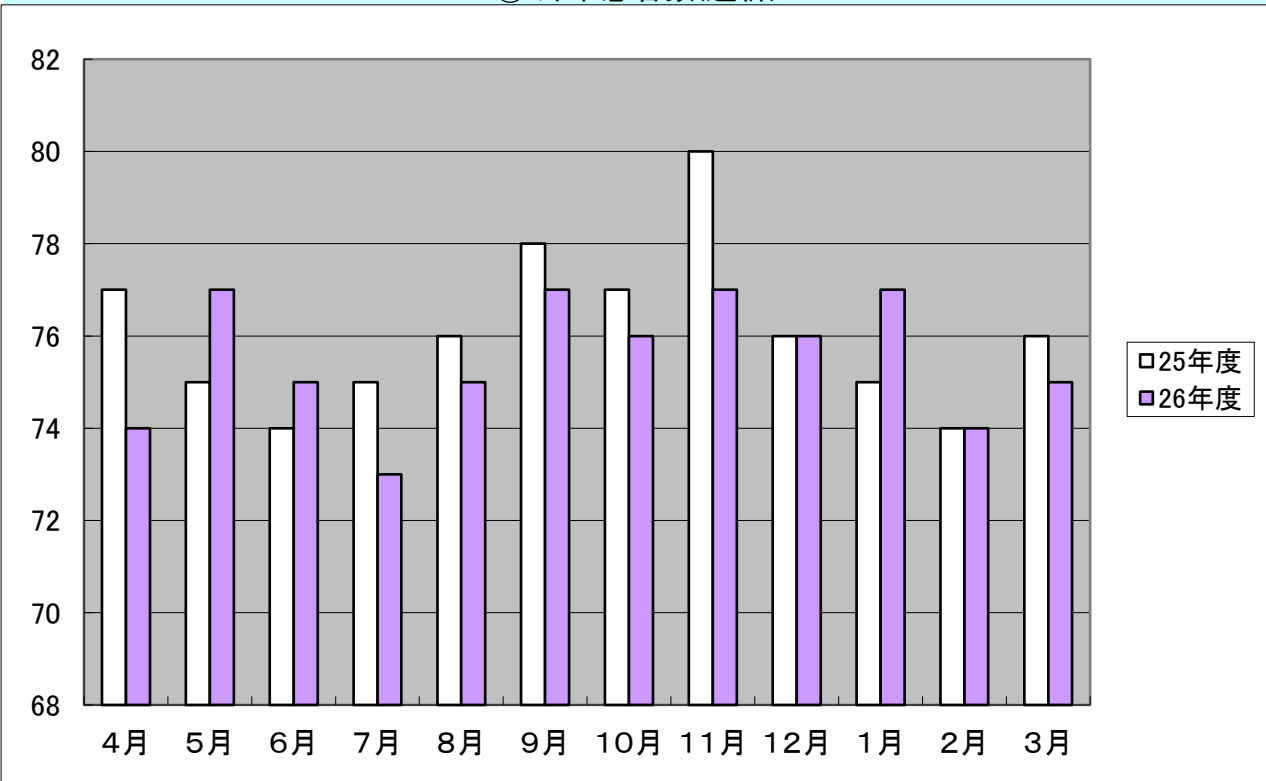
(2)患者データ【うえやま腎クリニック】

① 外来患者数(一般)



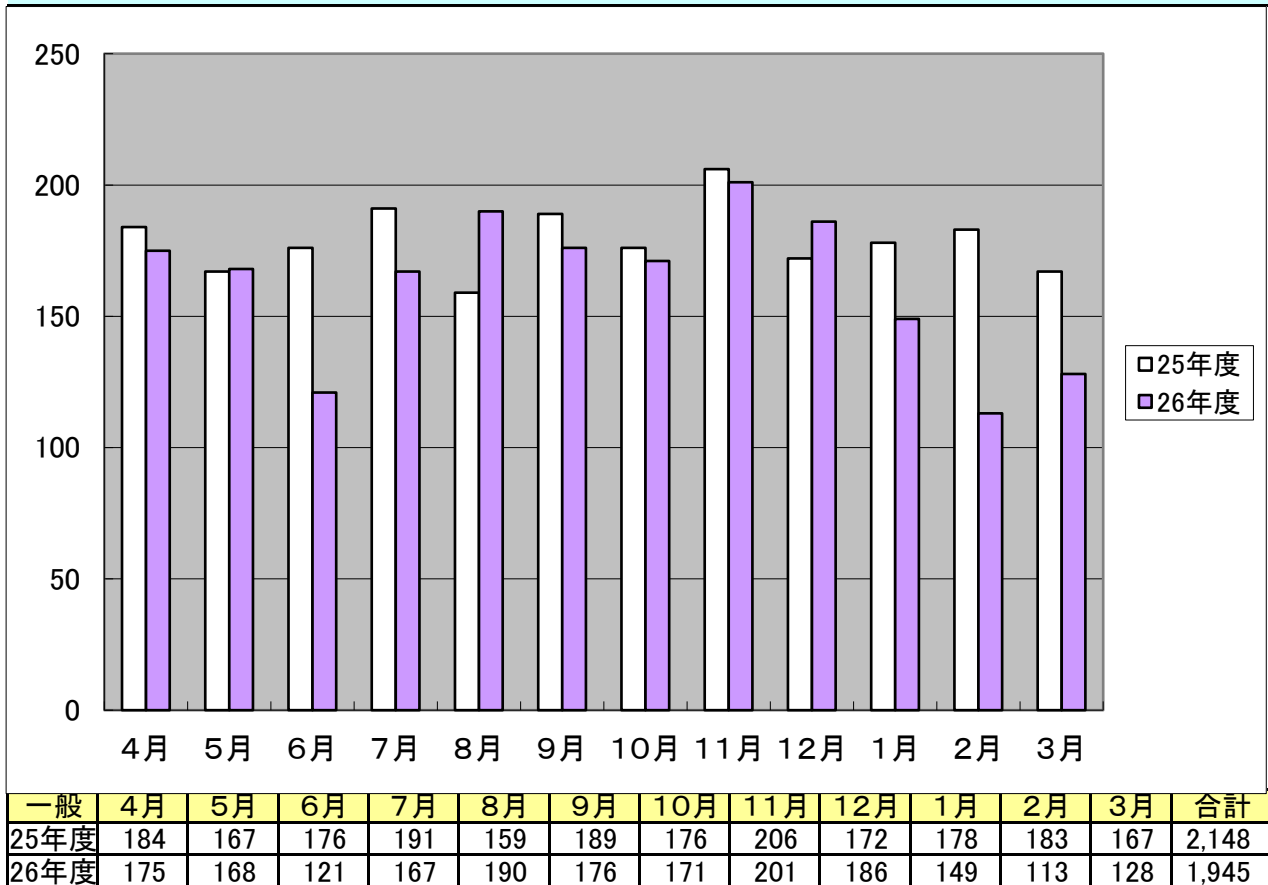
一般	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
25年度	130	131	123	131	119	131	123	137	128	132	133	130	1,548
26年度	133	132	109	128	123	122	128	137	138	121	105	110	1,486

② 外来患者数(透析)

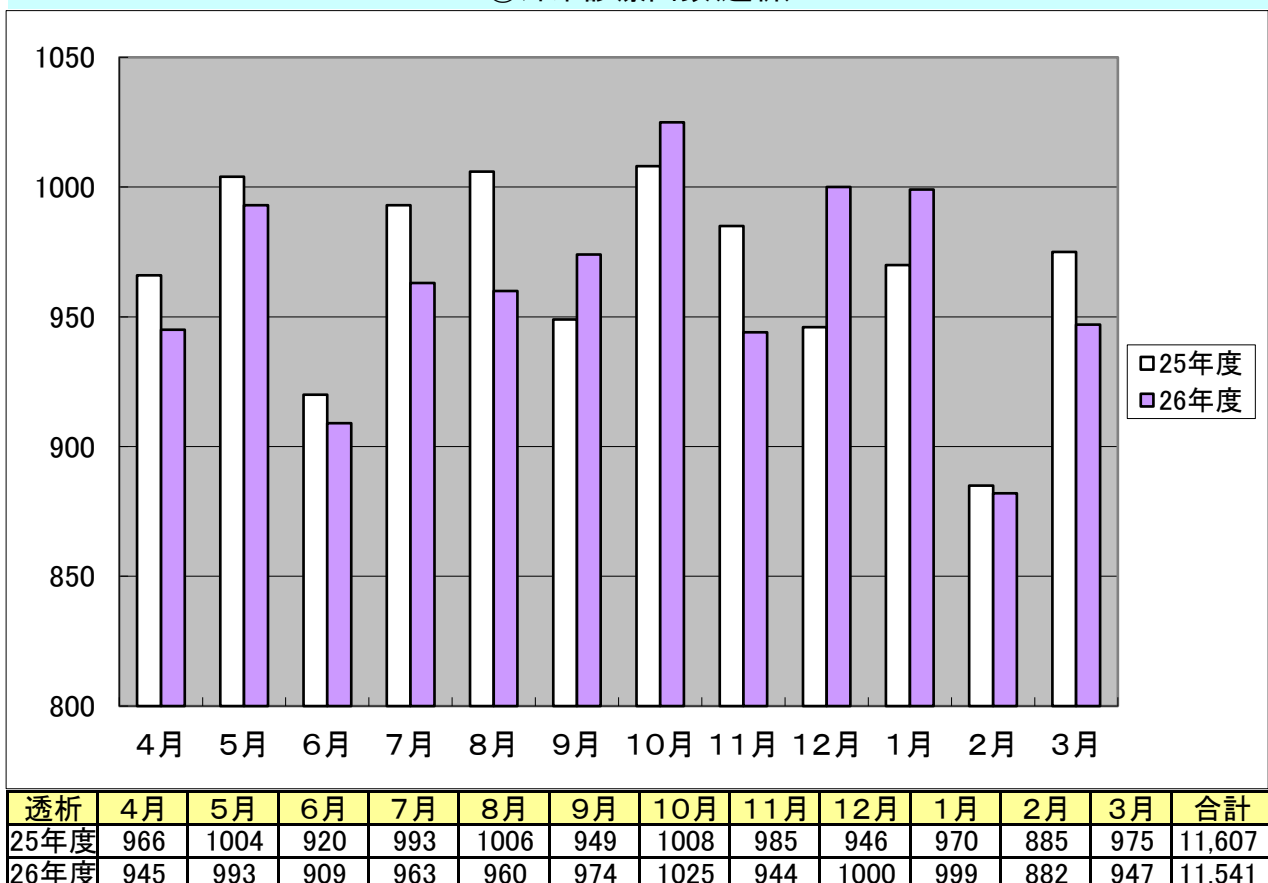


透析	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
25年度	77	75	74	75	76	78	77	80	76	75	74	76	913
26年度	74	77	75	73	75	77	76	77	76	77	74	75	906

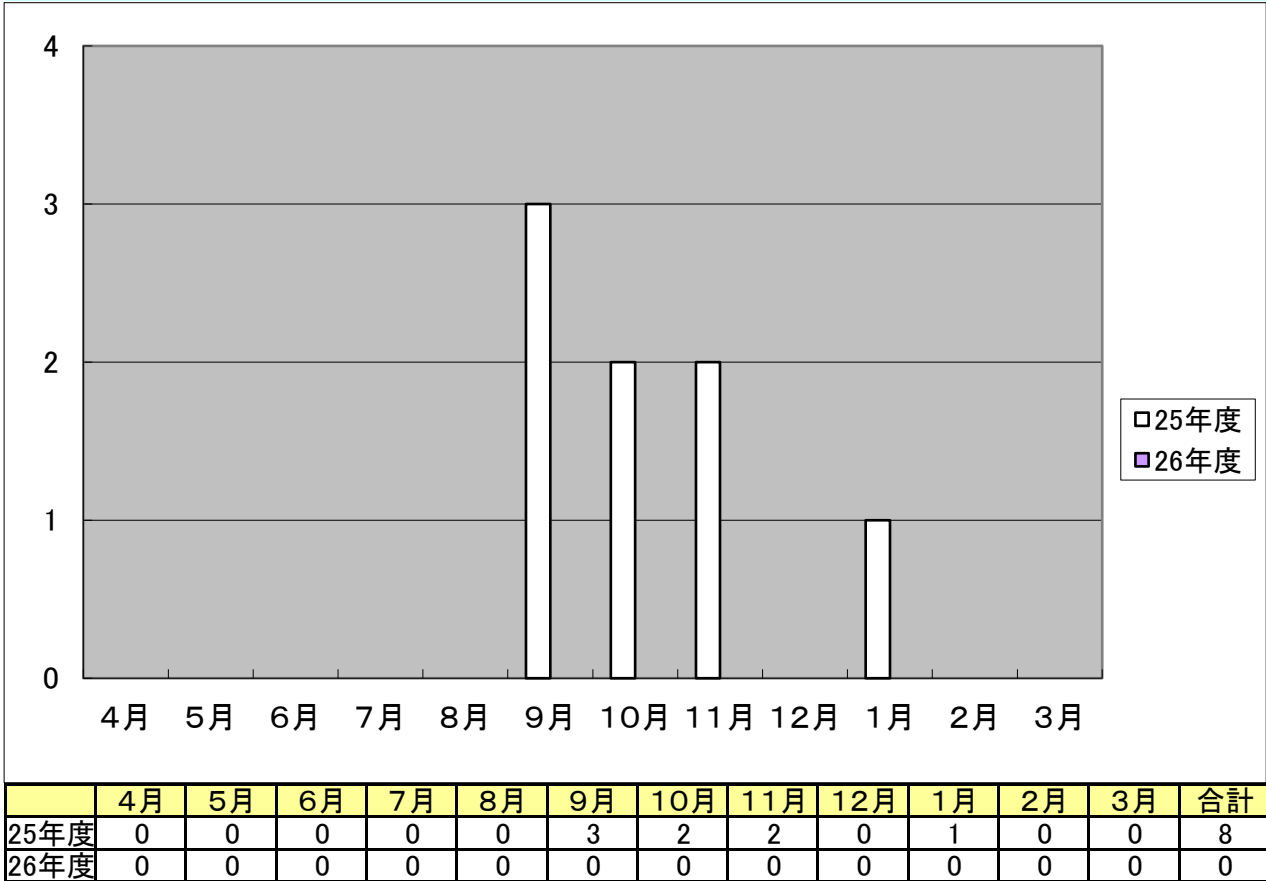
③外来診療回数(一般)



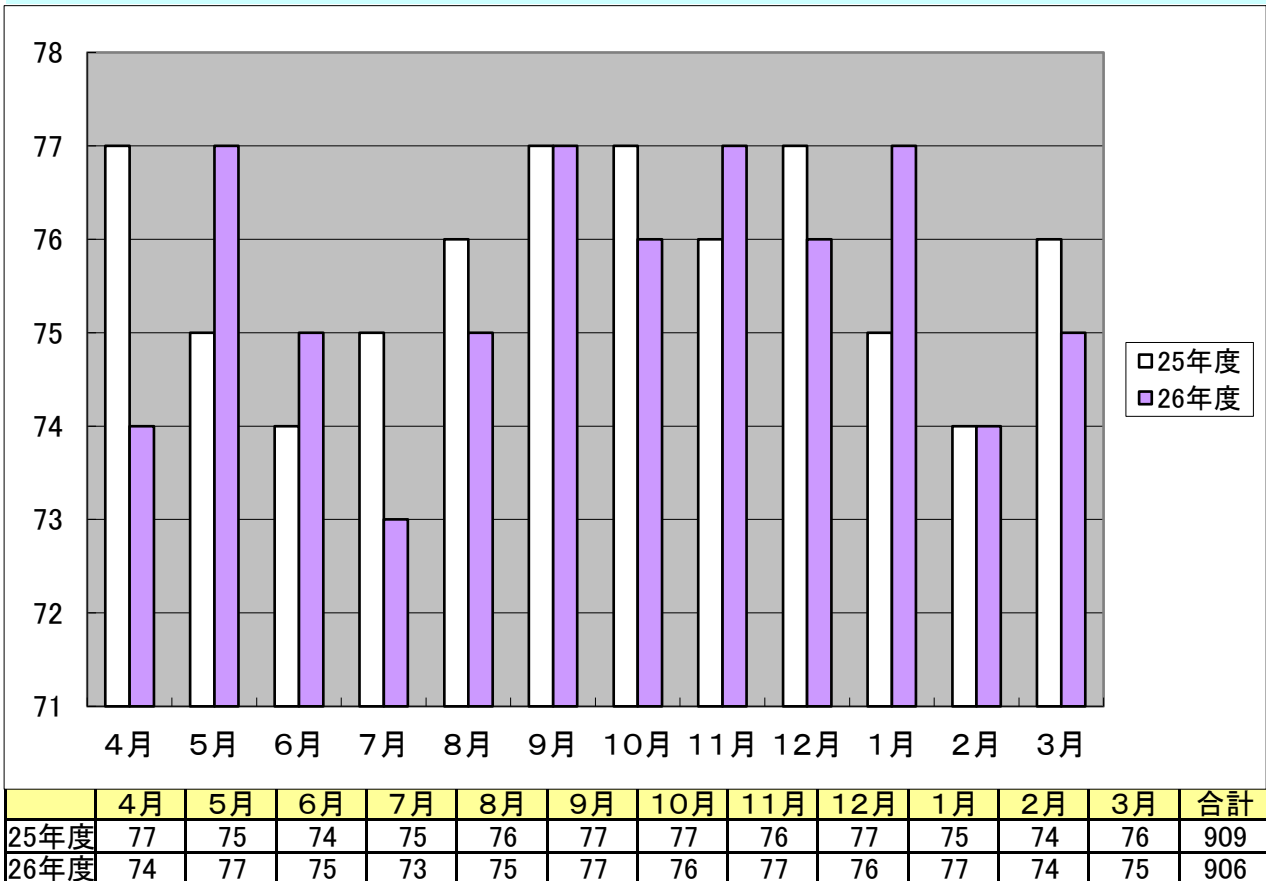
④外来診療回数(透析)



⑤ 紹介受け入れ患者数



⑥ 維持透析患者数



## ⑦ 健診件数

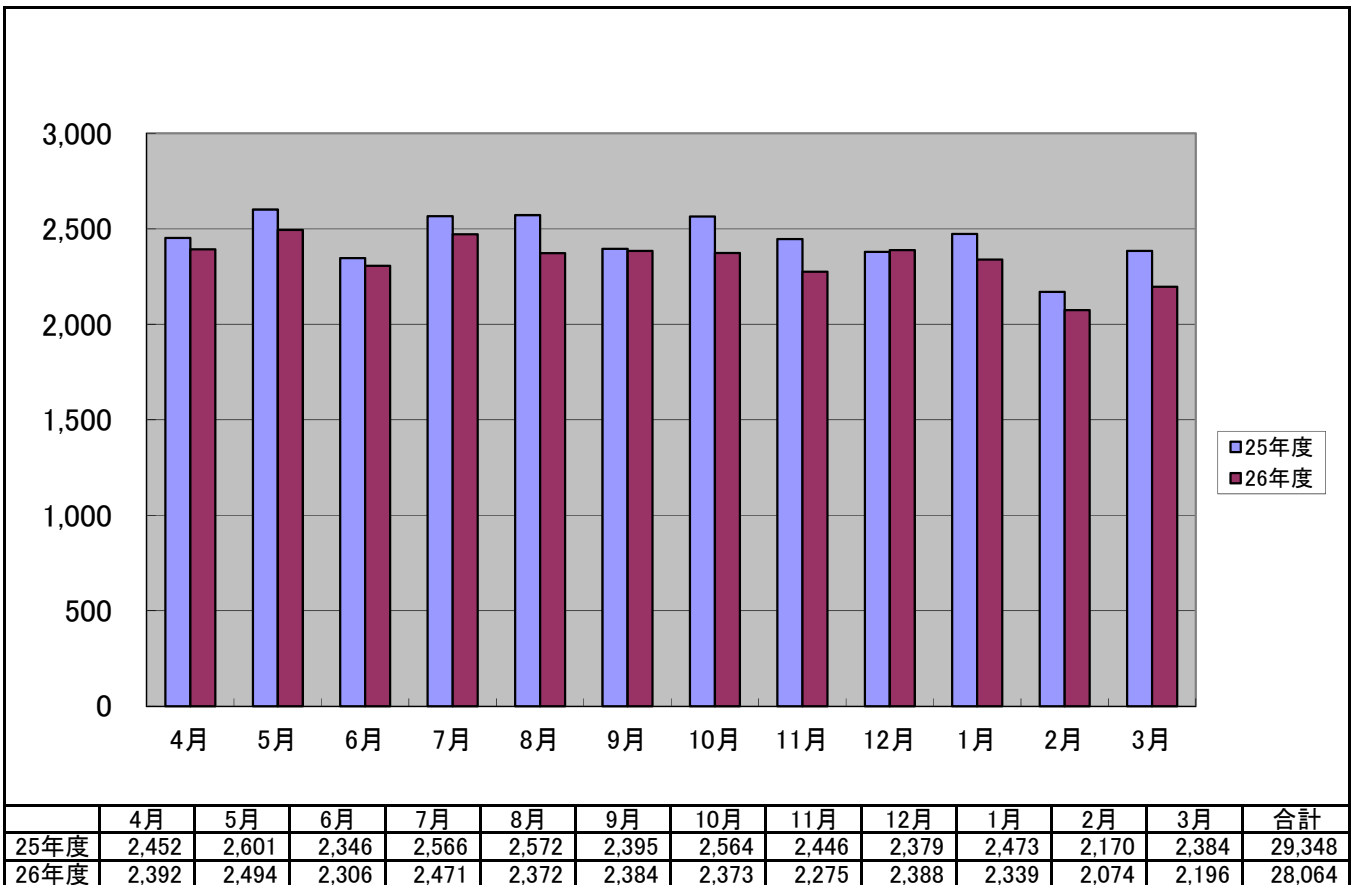
平成26年度	特定健診		学童腎検	労災二次健診	職場健診
	国保	社保			
4月					
5月	1				
6月	2				31
7月	1				
8月	4				1
9月					17
10月					5
11月					1
12月	3				
1月	1				1
2月					
3月	2	1			19
小計	14	1	0	0	75
合計	15				

### 平成26年度うえやま腎クリニック 生菌検査結果

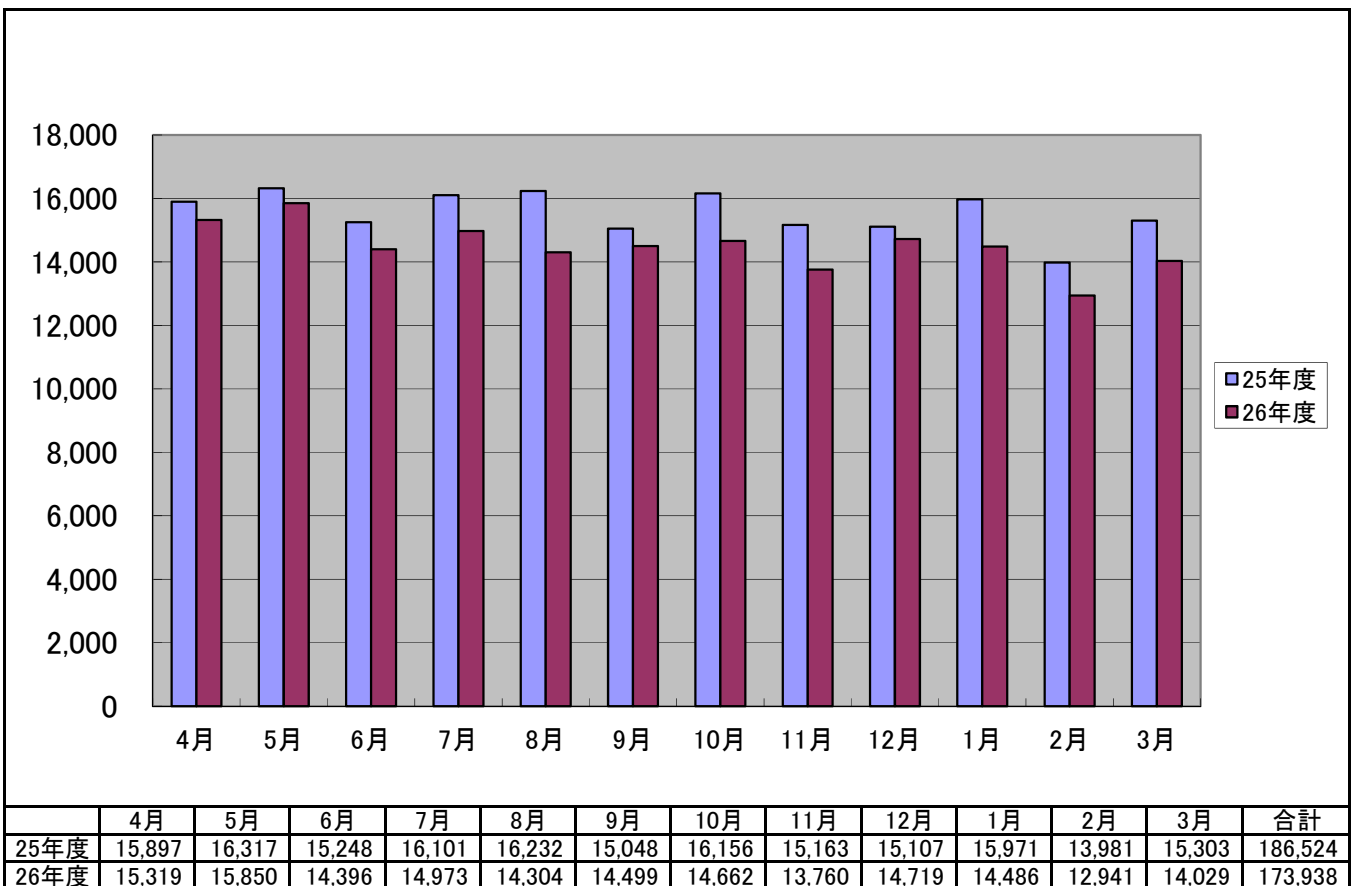
サンプリング場所	機種名	測定日	測定値(CFU/50mL)	測定値(CFU/mL)	備考
原水	MIZ752C-H	2月27日	0	0	
軟水	MIZ752C-H	2月27日	100	2	
処理水	MIZ752C-H	2月27日	86	1.72	
UF		3月3日	0	0	
A剤自動溶解装置	A-HI	3月9日	0	0	
B剤自動溶解装置	DRY-01	3月9日	0	0	
多人数供給装置	DAB-50E	3月2日	4	0.08	
モルセップ(A)	ET-5E	3月2日	0	0	
モルセップ(B)	ET-5E	3月2日	0	0	
コンソール No.1	DCS-27	5月9日	0	0	
コンソール No.6	DCS-27	5月9日	0	0	
コンソール No.7	DCS-27	5月9日	0	0	
コンソール No.12	DCS-27	7月31日	0	0	
コンソール No.13	DCS-27	7月31日	0	0	
コンソール No.2	DCS-27	7月31日	0	0	
コンソール No.3	DCS-27	9月26日	0	0	
コンソール No.4	DCS-27	10月27日	0	0	
コンソール No.5	DCS-27	12月29日	0	0	
コンソール No.8	DCS-27	9月26日	0	0	
コンソール No.45	DCS-27	9月26日	0	0	
コンソール No.46	DCS-27	8月25日	0	0	
コンソール No.47	DCS-27	9月29日	0	0	
コンソール No.48	DCS-27	9月29日	0	0	
コンソール No.49	DCS-27	11月28日	0	0	
コンソール No.50	DCS-27	8月25日	0	0	
コンソール No.51	DCS-27	8月25日	0	0	
コンソール No.52	DCS-27	10月29日	0	0	
コンソール No.53	DCS-27	9月29日	0	0	
コンソール No.54	DCS-27	10月27日	0	0	
コンソール No.106	DCS-26	12月27日	0	0	
コンソール No.107	DCS-26	10月29日	0	0	
コンソール No.108	DCS-26	11月28日	0	0	
コンソール No.109	DCS-26	12月29日	0	0	
コンソール No.110	DCS-26	12月27日	0	0	
コンソール No.111	DCS-26	6月11日	0	0	
コンソール No.112	DCS-26	6月11日	4	0.08	7月31日 再検査実施 0
コンソール No.113	DCS-26	12月27日	0	0	
コンソール No.114	DCS-26	1月29日	0	0	
コンソール No.115	DCS-26	11月28日	1	0.02	12月26日 再検査実施 0
コンソール No.116	DCS-26	1月29日	0	0	
コンソール No.117	DCS-26	1月30日	0	0	
コンソール No.118	DCS-26	1月30日	0	0	
コンソール No.18	DCS-27	8月30日	0	0	
コンソール No.19	DCS-27	8月30日	0	0	
コンソール No.121	DCS-26	8月30日	0	0	
コンソール No.122	DCS-26	10月29日	0	0	
コンソール No.24	DCS-27	4月25日	0	0	
コンソール No.25	DCS-27	4月25日	0	0	
コンソール No.30	DCS-27	4月25日	0	0	

(3)送迎データ

①送迎延患者数



②送迎走行距離



(4) 職員データ

①職員数（平成27年3月31日現在）

項目		HP	CL	本部	USK	計
所属法人	1 腎愛会	111	20	3	0	134
	2 ユーエスケイ企画	15	3	3	7	28
	計	126	23	6	7	162
勤務状況	1 常勤	83	8	3	20	114
	2 日勤	8	5	0	0	13
	3 短時間勤務	5	3	0	1	9
	4 契約職員	1	0	0	0	1
	5 嘱託職員	0	0	0	1	1
	6 非常勤	13	4	0	6	23
	8 休職	1	0	0	0	1
	計	111	20	3	28	162
性別	1 女性	82	17	2	22	123
	2 男性	29	3	1	6	39
	計	111	20	3	28	162
資格・職種	1 医師	6	2			8
	2 薬剤師	4	0			4
	3 診療放射線技師	2	0			2
	4 臨床検査技師	3	0			3
	5 臨床工学技士	7	1			8
	6 管理栄養士/栄養士	2	0			2
	7 理学療法士	4				4
	8 社会福祉士	2	0			2
	9 看護師	36	9			45
	10 准看護師	10	5			15
	11 ケアスタッフ	19	3			22
	12 技師助手	1	0			1
	13 医療事務	12	3			15
	14 一般事務	5	0	6	2	13
	15 営業事務/営業員	0	0		4	4
	16 技術員	0	0		1	1
	17 運転手	7	0			7
	18 清掃員	5	0			5
	19 その他	1	0			1
計	126	23	6	7	162	

②就業状況

	平均		男性		女性	
	25年度	26年度	25年度	26年度	25年度	26年度
勤続年数	7.1	7.6	6.9	7.7	7.2	7.4
平均年齢	41.5	41.2	45.3	44.9	40.1	40.0

退職率	平均		職員数		退職者数	
	25年度	26年度	25年度	26年度	25年度	26年度
全体	18.1%	9.7%	127	134	23	13
男性	8.8%	9.1%	34	33	3	3
女性	21.5%	9.9%	93	101	20	10

復職率	25年度	26年度
	0.00%	0.00%

※パートへの復職を含む（育休・介休などの休職後の復帰を含まず。）

有給取得率	25年度	26年度
	61.4%	74.1%

※（26年4月から27年3月までの総取得日数）÷（27年3月現在で直近に付与された日数の総計）



医療法人 腎愛会 平成 26 年度年報

発行日 平成 27 年 10 月

発行者 医療法人腎愛会 法人本部